

平成23年度 第2回鹿児島市地域情報化推進委員会

○日時：平成23年11月16日（水）

午前11時～12時

○場所：東別館9階特別中会議室

会 次 第

- 1 鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について
- 2 第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について
- 3 その他

【資料1】鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

【資料2】第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

【参考資料】①鹿児島市の情報化に関する市民意識調査（案）

②かごしまITフェスタの開催について（ご案内）

③かごしまITフェスタチラシ

（ファイル綴り）

第二次鹿児島市地域情報化計画の推進体制

第二次鹿児島市地域情報化計画（本編・概要版）

鹿児島市地域情報化推進本部設置要綱

鹿児島市地域情報化推進委員会設置要綱

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査について

1. 目的

現行の第二次地域情報化計画の期間終了を平成24年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、本市における情報通信機器やインターネットの利用状況、IT施策に関する市民意識調査を行うもので、次期情報化計画の基礎資料とするものである。

2. 調査対象等（P1：別紙「鹿児島市の情報化に関する市民意識調査（案）」から）

・調査対象者

人数：18歳～79歳の鹿児島市民、総数3,050名（男女1,525名ずつ）

基準：住民基本台帳（平成23年4月1日現在）から年齢階層別に男女250人ずつ無作為抽出

※18歳以上20歳未満については参考調査のため、男女各25人ずつを調査。

・調査期間：平成23年8月1日～8月17日

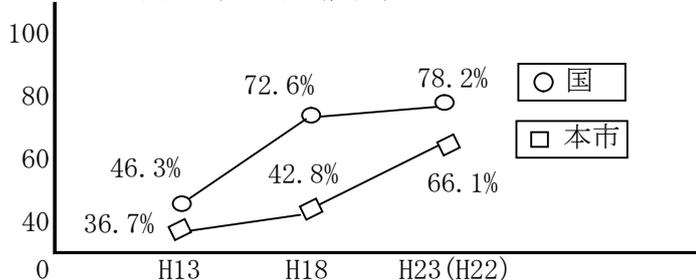
・有効回答率：1,434件 46.6%

3. 概要

(1) インターネット利用率（P9）

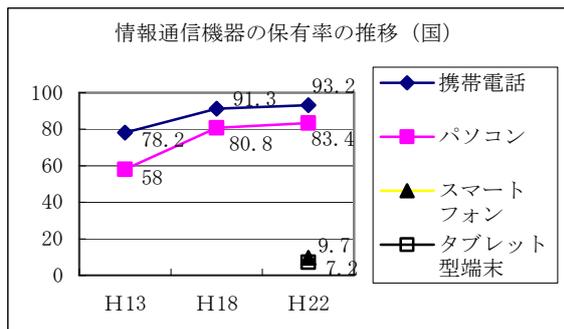
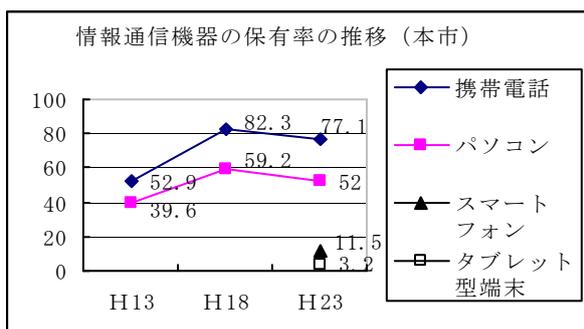
前回18年度調査と比較して、本市の個人利用率は42.8%から66.1%と23.3ポイント増加し、インターネットが普及している状況が現れている。

インターネット利用率（個人）



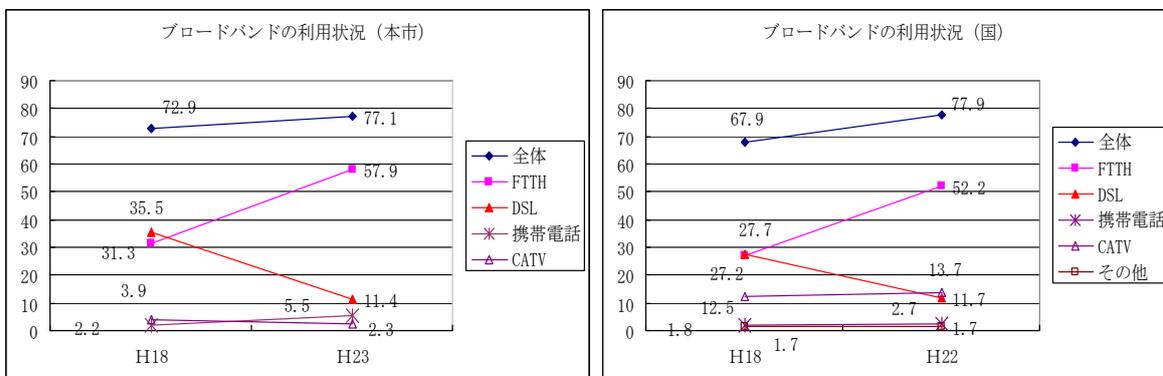
(2) 情報通信機器の保有状況（世帯）（P6）

前回18年度調査と比較して、本市の保有率は携帯電話が82.3%から77.1%と5.2ポイント減少、パソコンが59.2%から52%と7.2ポイント減少しているが、これは新たな情報通信手段としてスマートフォンやタブレット型端末などがでてきたことによる影響と考えられる。



(3) 自宅のパソコンによるインターネット接続回線の利用状況 (P7)

前回18年度調査と比較して、本市の自宅でのブロードバンド回線の利用率は72.9%から77.1%と4.2ポイント増加している。利用している回線種別の特徴としてはFTTH(光)回線が大幅に増加した反面、DSL回線は減少している。これは国も同様の傾向が見られる。



(4) その他主な質問についての回答状況

質問内容	回答数が多い項目
1 インターネット利用での不安等 (P16)	個人情報の保護に不安がある (41.6%)
	ウィルスの感染が心配である (40%)
	通信料金が低い (26.4%)
2 行政情報の入手方法 (P17)	市が発行する広報紙 (市民のひろばなど) (81%)
	テレビ (50.4%)
	新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど (47.7%)
3 必要としているまたは関心のある行政情報 (P18)	住民票・年金・税金などの暮らしの情報 (39.3%)
	各種相談や窓口に関する情報 (36.5%)
	市のイベントに関する情報 (34%)
4 情報化による市民サービスの利用意向 (P28)	健康・医療サービスの充実 (39.9%)
	高齢者や障がい者福祉の充実 (介護サービスを含む) (34.7%)
	インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など (28.5%)
5 情報化に対する不安や不満 (P29)	パソコンを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる (44.6%)
	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される (43.7%)
	ネットワーク犯罪が増加する (38.4%)
6 国が推進する情報化施策のうち取り組んだ方がよいと思われるもの (P30)	高齢者等に対する在宅医療・介護、見守り支援等を推進する (43.9%)
	インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる (43.4%)
	番号制度を利用することで保険や税、年金など申請手続きの簡素化や効率化を図る (27.1%)

第二次鹿児島市地域情報化計画の推進状況について

【目的】

国の動向などを踏まえ、本市の各種情報化施策を計画的及び効率的に推進することで、市民生活の利便性の向上などを図るもの。「第四次鹿児島市総合計画」に掲げた目標の達成を、情報化の側面から支援する。

【推進の状況】

第二次鹿児島市地域情報化計画の 88 件の具体策についての推進状況は、平成 23 年度末までの予定まで含めて以下の通り。

実施済み	72 件 (81.8%)
システム構築中等	10 件
検討中	6 件

＜検討中の具体策 6 件の今後の方針＞

今後実現の見込みがあるもの 2 件

(施策名) 具体策名		今後の方針
1	(市立病院システムの拡充) 電子カルテシステムの導入	平成 25 年度に現市立病院で導入し、必要な検証を行い安定稼動をさせた上で、新病院建設にあわせて移行する。
2	(ICカードの活用) 自動交付機の追加導入	住民基本台帳カードの普及促進を図りながら、サービスステーションでの時間外利用などに向けた導入の検討を進める。

継続して検討するもの 3 件

(施策名) 具体策名		今後の方針
3	(図書館情報システムの拡充) 図書館蔵書の IC タグ管理	現システム導入からある程度経過しているため、次期システム更新時に導入できないか検討をしていく。
4	(公共交通機関の機能強化) バスロケーションシステムの導入	平成 26 年度の更新を予定している「電車運行情報システム」との連携や導入の実現性、費用対効果等を総合的に勘案しながら、引き続き検討を行っていく。
5	(ICカードの活用) 交通カードシステムの有効活用	費用対効果はもちろんのこと、市施設、他の交通事業者等との協議の動向を踏まえながら検討をしていく。

実施困難なもの 1 件

(施策名) 具体策名		今後の方針
6	(公共施設予約システムの拡充) マルチペイメントネットワーク対応	システム導入に向けた検討の中で、利用時間の延長等で施設使用料が変わるなどの変動要素の実態への対処が難しいことから、現状ではマルチペイメントへの対応は困難である。

第二次鹿児島市地域情報化計画の20年度から23年度にかけての取組状況一覧

第4次鹿児島市総合計画	第二次鹿児島市地域情報化計画				推進状況(実績)	推進状況(実績)	推進状況(実績)	推進状況(予定)
	分野	施策名	具体策		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度末時点
1 安心して 健やかに暮 らせるまち	安心・安全	1 防災情報提供の充実	① 1 防災情報システムの構築	△	○	◎	◎	
			② 2 安心ネットワーク119の拡充(配信情報登録地域の見直し等)	△	◎	◎	◎	
			③ 3 雨量観測システムの拡充(観測局の増設等)	○	◎	◎	◎	
	福祉・子育て	2 消防救急体制の充実	① 4 消防緊急通信指令システムの再構築(デジタル化対応)	○	◎	◎	◎	
			3 地域福祉ネットワークの構築	① 5 地域福祉館へのパソコン配備	△	◎	◎	◎
				① 6 子育て支援情報サイトの構築	◎	◎	◎	◎
				② 7 親子つどいの広場へのICTコーナー設置	◎	◎	◎	◎
2 豊かな心 と個性を育 むまち	学校教育	5 学校における情報教育の充実	① 8 学習用コンテンツの配信	◎	◎	◎	◎	
			② 9 学校ホームページの充実(ブログ機能追加等)	○	◎	◎	◎	
			③ 10 学習用・校務用機器等の整備	○	○	◎	◎	
			④ 11 学習メディア作品コンクールの実施	○	◎	◎	◎	
	生涯学習	6 生涯学習へのICT活用	① 12 ICT基礎講座の実施	◎	◎	◎	◎	
			② 13 地域公民館等での講座開催用機器及び無線LAN環境の構築	◎	◎	◎	◎	
			③ 14 情報ボランティア(ICTサポーター)の育成	◎	◎	◎	◎	
			① 15 キュートピアネットの拡充(抽選結果メール配信、イベント情報メールマガジン)	○	○	◎	◎	
	7 公共施設予約システムの拡充	② 16 マルチベイメントネットワーク対応	△	△	△	△		
		8 図書館情報システムの拡充	① 17 インターネット蔵書検索・予約等サービスの拡充	◎	◎	◎	◎	
	② 18 図書館蔵書のICTタグ管理		△	△	△	△		
	コミュニティ	9 地域コミュニティの形成	① 19 地域SNSの構築	△	◎	◎	◎	
3 人と自然 にやさしい 快適なまち			環境	10 グリーンICTへの取組	① 20 地球温暖化対策ホームページの構築	○	○	◎
	② 21 庁内サーバ統合等による消費電力及びCO2の削減	△			△	○	○	
	③ 22 エコポイントシステムの導入	△			◎	◎	◎	
	11 環境に関する情報システムの構築及び拡充	① 23 環境情報システムの構築	◎	◎	◎	◎		
		② 24 光化学オキシダント情報発信システムの構築	△	◎	◎	◎		
		4 機能的で 多彩な交流 が広がるま ち	交通	12 公共交通機関の機能強化	① 25 公共交通総合案内システムの構築	○	◎	◎
② 26 バスロケーションシステムの導入	△				△	△	△	
③ 27 時刻経路料金検索サービスの導入	△				◎	◎	◎	
地域情報化	13 地域ポータルサイトの構築		① 28 地域ポータルサイトの構築	△	◎	◎	◎	
			14 通信基盤の整備	① 29 ブロードバンド整備促進支援	○	○	◎	◎
	② 30 地上デジタル放送難視聴対策支援			○	○	○	○	
	③ 31 携帯電話圏外対策支援			△	○	○	○	
	15 ICTメリットの広報		① 32 ICT使用のメリット広報	○	◎	◎	◎	
	16 ICTイベントの開催		① 33 かがしまITフェスタの開催	○	◎	◎	◎	
	17 ホームページ等を利用した情報発信の充実		① 34 鹿児島市ホームページの充実	◎	◎	◎	◎	
② 35 本市告示のホームページ掲載		△	◎	◎	◎			
③ 36 かがしまデジタルミュージアムの充実		○	◎	◎	◎			
④ 37 男女共同参画ホームページの充実		◎	◎	◎	◎			
⑤ 38 メールマガジンによる情報発信の充実		△	◎	◎	◎			
18 携帯電話の活用	① 39 携帯電話サイトのコンテンツ充実	○	◎	◎	◎			
	② 40 携帯電話向け地図情報サービスの提供	○	◎	◎	◎			
	③ 41 二次元コード活用による新サービスの導入	△	◎	◎	◎			
	④ 42 学校における保護者への情報の配信	△	◎	◎	◎			
国際交流	19 国際交流情報の充実	① 43 鹿児島市国際交流市民の会ホームページの充実(多言語対応、メール配信等)	△	△	△	○		

第二次鹿児島市地域情報化計画の20年度から23年度にかけての取組状況一覧

第4次鹿児島市総合計画	第二次鹿児島市地域情報化計画				推進状況(実績)	推進状況(実績)	推進状況(実績)	推進状況(予定)
	分野	施策名	具体策		H20年度	H21年度	H22年度	H23年度末時点
5 にぎわいと活力あふれるまち	産業	20 高度ICT人材の育成	① 44 高度ICT人材育成講座の開催	△	△	△	○	
			① 45 情報化セミナー等の開催	◎	◎	◎	◎	
		21 地域産業の情報化の推進	② 46 企業情報データベースの作成	△	△	△	○	
			③ 47 遊休農地バンクによる遊休農地の情報の提供		○	◎	◎	
		22 情報関連産業・SOHO事業者の育成支援	① 48 ソフトプラザかごしま・ソーホーかごしまの運営	◎	◎	◎	◎	
			② 49 情報関連企業の誘致	◎	◎	◎	◎	
	観光	23 観光情報提供サービスの充実	③ 50 SOHO支援イベントの開催	◎	◎	◎	◎	
			① 51 観光イベントの動画インターネット配信	○	◎	◎	◎	
			② 52 観光案内板のデータベース化		○	◎	◎	
			③ 53 観光案内板にQRコードを付加及び携帯用HP作成業務		○	◎	◎	
			④ 54 ホームページの作成	◎	◎	◎	◎	
6 基本構想の推進	市民参画	24 市民意見の市政反映	① 55 電子メールによる「わたしの提言」の推進	◎	◎	◎	◎	
			② 56 主な意見のインターネットでの公表	◎	◎	◎	◎	
	電子市役所	25 庁内システムの最適化	① 57 業務・情報システム最適化指針の策定	△	△	○	○	
			② 58 統合連携基盤(地域情報プラットフォーム)の整備	△	△	○	○	
			③ 59 ネットワークの統合及び端末の共有化	△	△	○	◎	
			④ 60 業務システム再構築(レガシーシステムの見直し)	△	△	○	○	
			⑤ 61 システムの調達ガイドラインの策定	△	△	○	○	
		26 庁内業務効率化に向けたICT活用	① 62 庶務事務システムの導入	△	△	○	◎	
			② 63 設計書・図面等の電子化による管理	○	◎	◎	◎	
			③ 64 建築物データベースの構築	○	◎	◎	◎	
			④ 65 消防支援情報システムの再構築	○	◎	◎	◎	
			⑤ 66 橋りょうマネジメントシステムの構築		○	◎	◎	
			⑥ 67 ワンストップ窓口システムの構築		△	○	◎	
			⑦ 68 公園台帳システムの開発				◎	
		27 市税等納付方法の拡大	① 69 電子納付システムの導入	◎	◎	◎	◎	
	28 ICカードの活用	① 70 自動交付機の追加導入	△	△	△	△		
		② 71 住民基本台帳カードの二次利用	△	△	△	◎		
		③ 72 交通カードシステムの有効活用	△	△	△	△		
		① 73 統合型GIS公開システムの構築	○	◎	◎	◎		
		② 74 公共施設ルート探索システムの構築	○	◎	◎	◎		
	29 地理情報システムの活用	③ 75 ごみステーション管理システムの構築	○	◎	◎	◎		
		④ 76 都市計画図、道路台帳、住居表示台帳等、各種台帳の電子化	○	◎	◎	◎		
		30 電子申請システムの拡充	① 77 電子申請システムの拡充(郵送サービス等)	△	○	◎	◎	
			② 78 地方税電子申告システムの導入			△	◎	
	31 電子調達システムの拡充	① 79 電子調達システムの構築・運営	◎	◎	◎	◎		
	32 コールセンターの構築	① 80 鹿児島市コールセンターの運営	◎	◎	◎	◎		
		② 81 FAQシステムの拡充	◎	◎	◎	◎		
	33 市立病院システムの拡充	① 82 電子カルテシステムの導入	△	△	△	△		
		② 83 医療画像管理システムの導入(画像情報システムの導入)	○	◎	◎	◎		
		③ 84 病診連携システムの導入	○	◎	◎	◎		
34 情報セキュリティの推進	① 85 情報セキュリティ監査の推進	○	◎	◎	◎			
	② 86 情報セキュリティ対策の推進	○	◎	◎	◎			
	③ 87 未承認端末の不正接続防止	△	△	○	◎			
	④ 88 業務パソコンへのICカード認証の導入	△	△	○	◎			
					◎ 21	◎ 54	◎ 65	◎ 72
					○ 27	○ 12	○ 12	○ 10
					△ 33	△ 21	△ 10	△ 6
総計					81	87	87	88

鹿児島市の情報化に関する市民意識調査（案）

平成23年11月

鹿児島市総務部情報システム課

目 次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	3
1. 回答者の基本属性	3
(1) 性別構成	3
(2) 年齢別構成	3
(3) 職業別構成	4
(4) 地域別構成	4
2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況	5
(1) 世帯でのインターネット利用率	5
(2) 情報通信機器の保有率	6
(3) 自宅でパソコンを利用してのインターネット接続回線	7
(4) 光回線を導入しない理由	8
3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況	9
(1) 個人でのインターネット利用率	9
(2) インターネットの利用機器	10
(3) インターネットの利用頻度	11
(4) インターネットの利用場所	12
(5) パソコンインターネットで利用するサービス	14
(6) インターネットの利用意向	15
(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由	14
4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法	17
(1) 行政情報の入手方法	17
(2) 必要としているまたは関心のある行政情報	18
(3) 市ホームページの利用経験及び評価	18
(4) 市ホームページについての自由意見	22
5. 情報化施策に関するニーズ	22
(1) 情報化による市民サービスの利用意向	28
(2) 情報化に対する不安や不満	29
(3) 今後の取り組みに必要なこと	30
(4) 情報化施策についての自由意見	31
III. 資料 アンケート調査票	

I. 調査の概要

■ 調査目的

現行の第二次地域情報化計画の期間終了を平成 24 年度末に控え、本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期地域情報化計画の策定に活用するため、本市における情報通信機器やインターネットの利用状況、IT 施策に関する市民意識調査を行うもので、次期情報化計画の基礎資料とするものである。

■ 調査対象

18 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民

■ 対象者抽出方法

住民基本台帳から年齢階層別・性別により無作為抽出

	男	女	合計
18～19 歳	25 人	25 人	50 人
20～29 歳	250 人	250 人	500 人
30～39 歳	250 人	250 人	500 人
40～49 歳	250 人	250 人	500 人
50～59 歳	250 人	250 人	500 人
60～69 歳	250 人	250 人	500 人
70～79 歳	250 人	250 人	500 人
合計	1,525 人	1,525 人	3,050 人

■ 調査方法

郵送配付、郵送回収

■ 調査期間

平成 23 年 8 月 1 日(月)～平成 23 年 8 月 17 日(水)

■ 有効回答数

1,434 件(回答率 46.6%)

■ 調査結果の留意事項

- ・ 図表中の N は回答者全員、n は限定された回答者の数（母数）であり、回答率（％）の分母である。
- ・ 回答率は百分比の小数以下第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ 2 つ以上の回答を要する（複数回答）設問の場合、その回答比率の合計は原則として 100%を超える。
- ・ 複数の回答率の総和は、回答者の実数の総和から算出した数値を端数処理しているため、図表中の回答率の総和とは一致しない場合がある。
- ・ 設問によっては、本市が実施した平成 13 年度調査（以下、「前々回調査」という。）及び平成 18 年度調査（以下、「前回調査」という。）の結果と比較、分析を行った。

	前々回調査	前回調査
実施時期	平成 13 年 7～8 月	平成 18 年 9 月
調査対象者	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民	20 歳以上 80 歳未満の鹿児島市民
調査方法	郵送配付、郵送回収	郵送配付、郵送回収
調査対象者数	4,200 人	3,000 人
回答数	1972 件	1,503 件
回答率	47.0%	50.1%

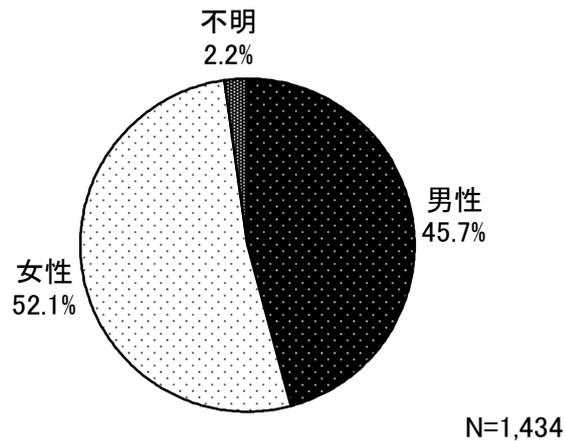
II. 調査結果

1. 回答者の基本属性

(1) 性別構成

回答者の性別の比率は男性が約 46%、女性が約 52%であった。鹿児島市の男女性比は平成 23 年 9 月の住民基本台帳では 47 : 53 であるためほぼ同じ割合である。

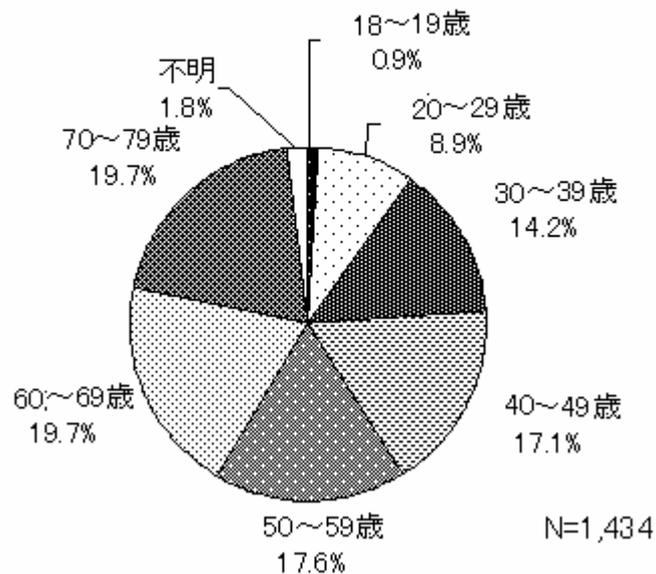
図表 1-1 性別構成



(2) 年齢別構成

回答者の割合は 50~79 歳が 57.0%であった。本市において 20~79 歳のうちの 50~79 歳の割合は、平成 23 年 9 月の住民基本台帳では 49.1%であるため高齢者層の割合が高い。

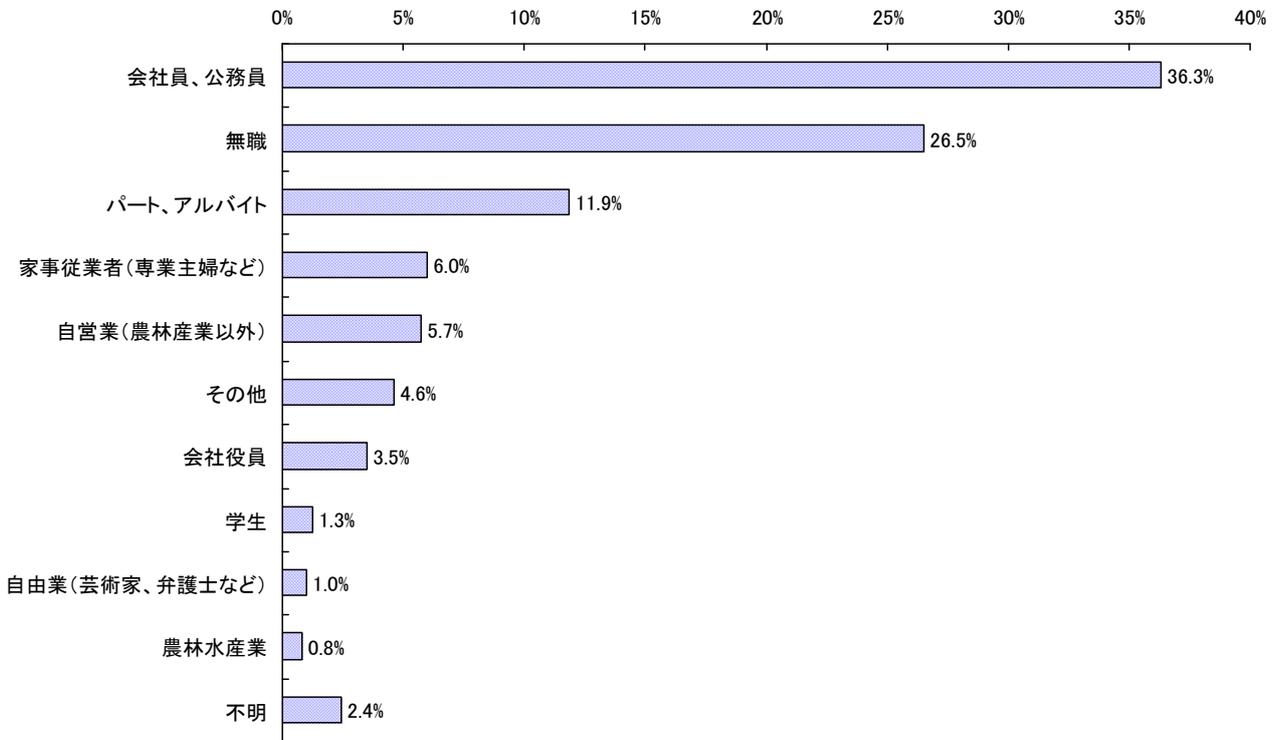
図表 1-2 年齢別構成



(3) 職業別構成

「会社員、公務員」の割合が36.3%と最も多く、次いで「無職」が26.5%、「パート、アルバイト」が11.9%であった。「会社員、公務員」、「無職」、「パート、アルバイト」の合計で全体の約7割を占めている。

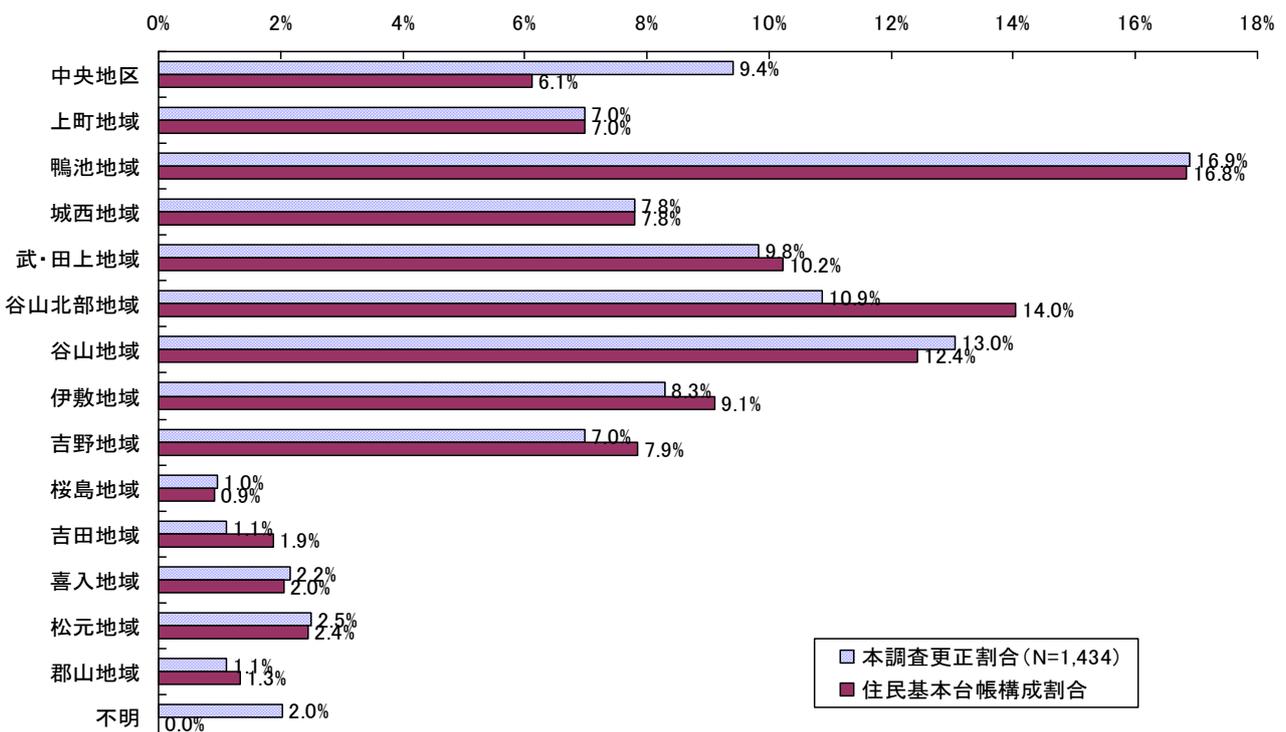
図表 1-3 職業別構成



(4) 地域別構成

平成 23 年 9 月の住民基本台帳の地区別構成と比較すると同程度の構成割合である。

図表 1-4 地域別構成 (本調査と住民基本台帳との比較)



2. 世帯でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の保有状況

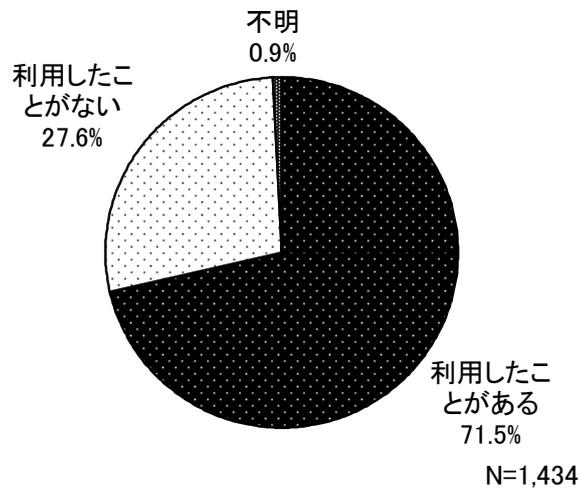
(1) 世帯でのインターネット利用率

問1. あなたの世帯ではご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

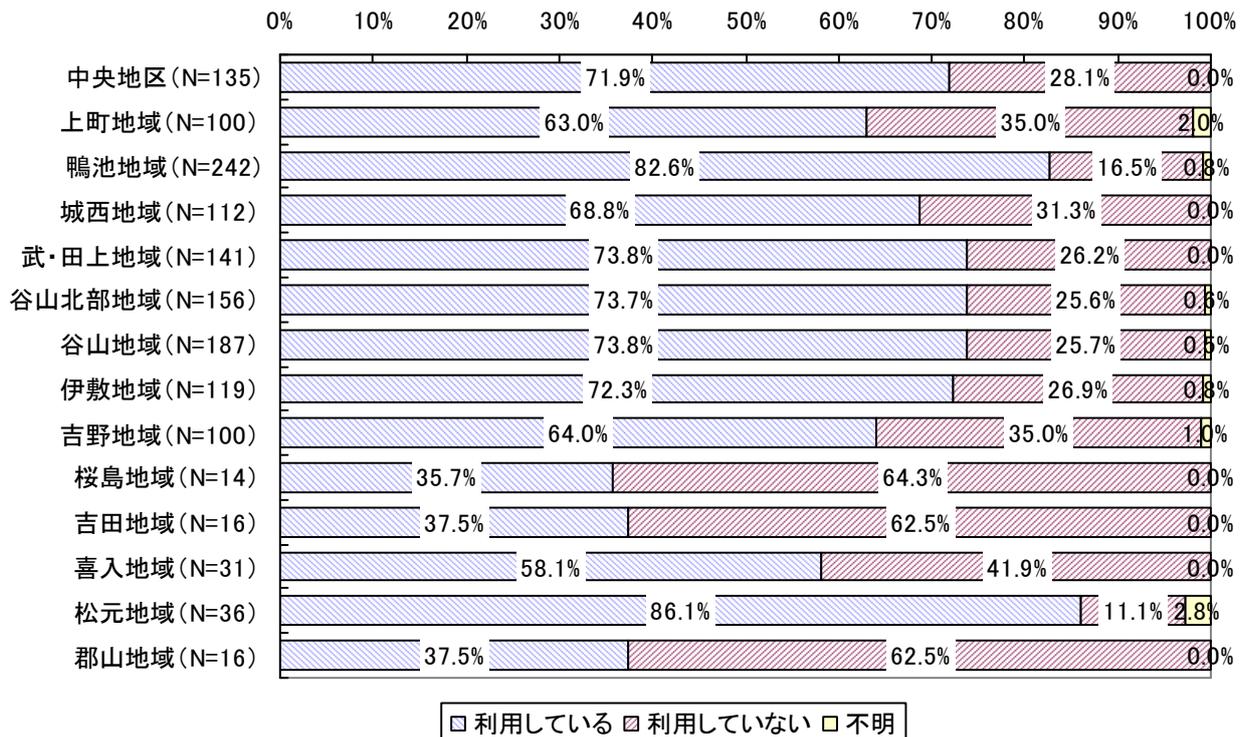
自宅でパソコンを使ってインターネットを利用している割合は、71.5%で5割を上回った(図表2-1参照)。

地域別にみると、「桜島地域」「吉田地域」「郡山地域」が「利用している」が5割を下回った。但し、回答数が少ないため単純比較できない(図表2-2参照)。

図表2-1 自宅でのパソコン利用によるインターネットの利用状況



図表2-2 地域別のインターネットの利用状況



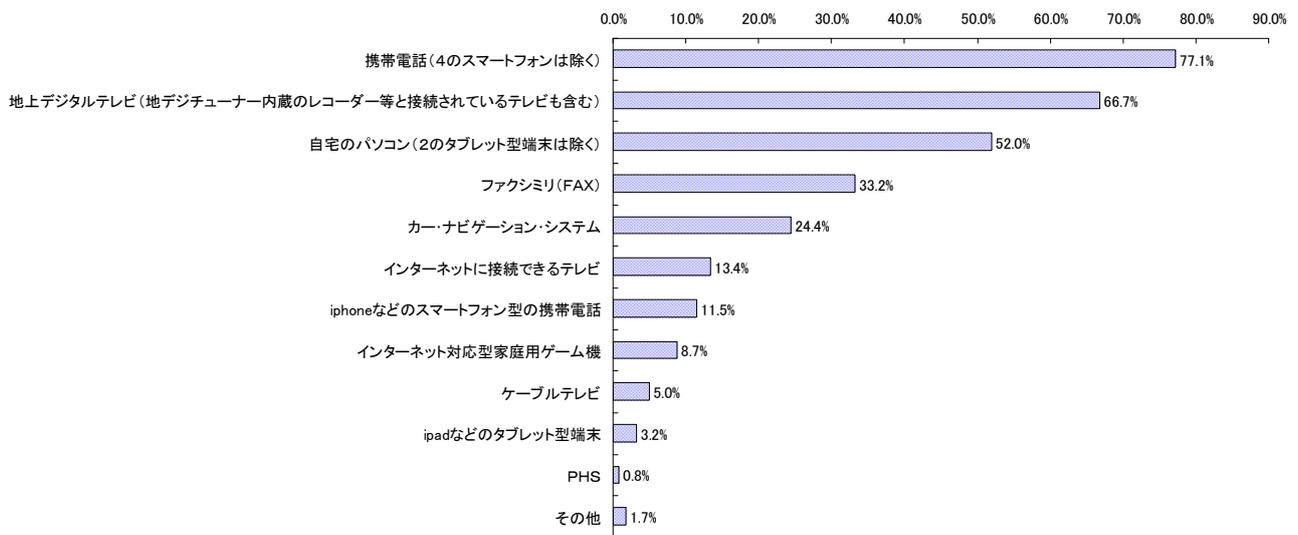
(2) 情報通信機器の保有率

問2 (1). あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。) <複数回答>

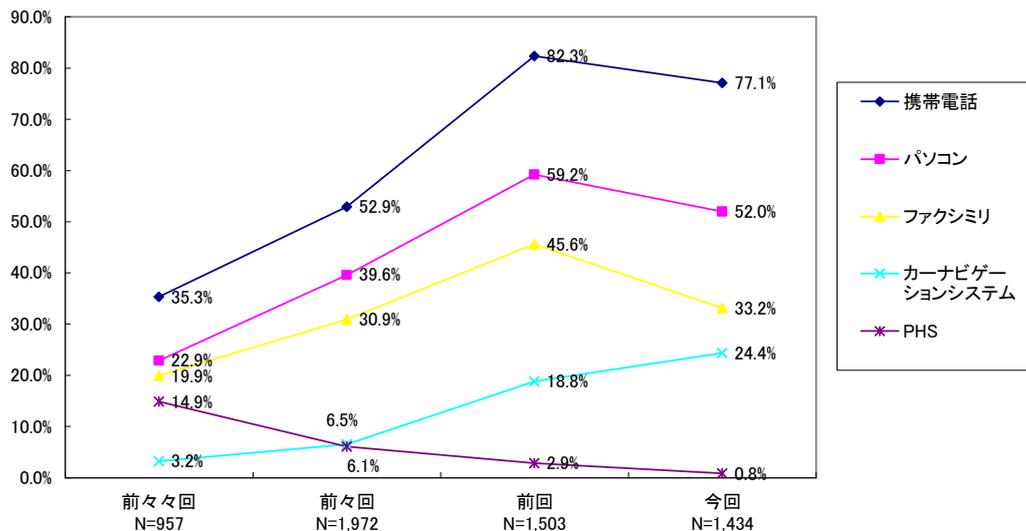
家庭における情報通信機器の保有率は、「携帯電話」が77.1%、次いで「地上デジタルテレビ」が66.7%、「パソコン」が52.0%であった。(図表2-3参照)。

保有率の推移をみると、「カーナビゲーション」以外の情報通信機器は保有率が下降している。「携帯電話」「パソコン」の下降には「スマートフォン型の携帯電話」の普及の影響が考えられる(図表2-4参照)。

図表 2-3 情報通信機器の保有率



図表 2-4 情報通信機器の保有率の推移

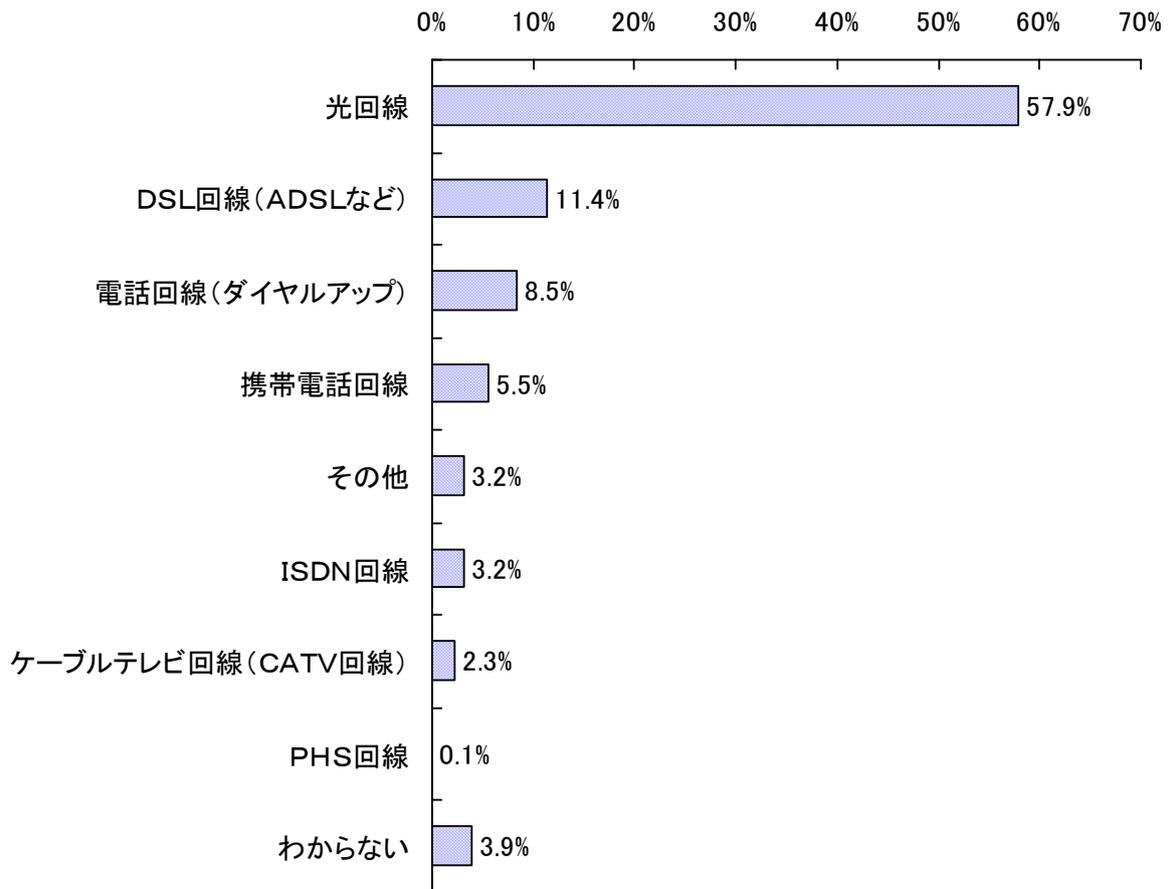


(3) 自宅でパソコンを利用してのインターネット接続回線

問2 (2). (1)で「1. 自宅のパソコン」を選んだ方におたずねします。「自宅」で「パソコン」を使って、どのような回線でインターネットに接続していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

自宅でパソコンを使ってインターネット接続をする家庭のうち、最も利用されている接続回線は、「光回線」であり、その利用率は57.9%であった。次いで「ADSL回線」が11.4%、「電話回線」が8.5%であった（図表2-5参照）。

図表2-5 自宅でのパソコンによるインターネット接続回線



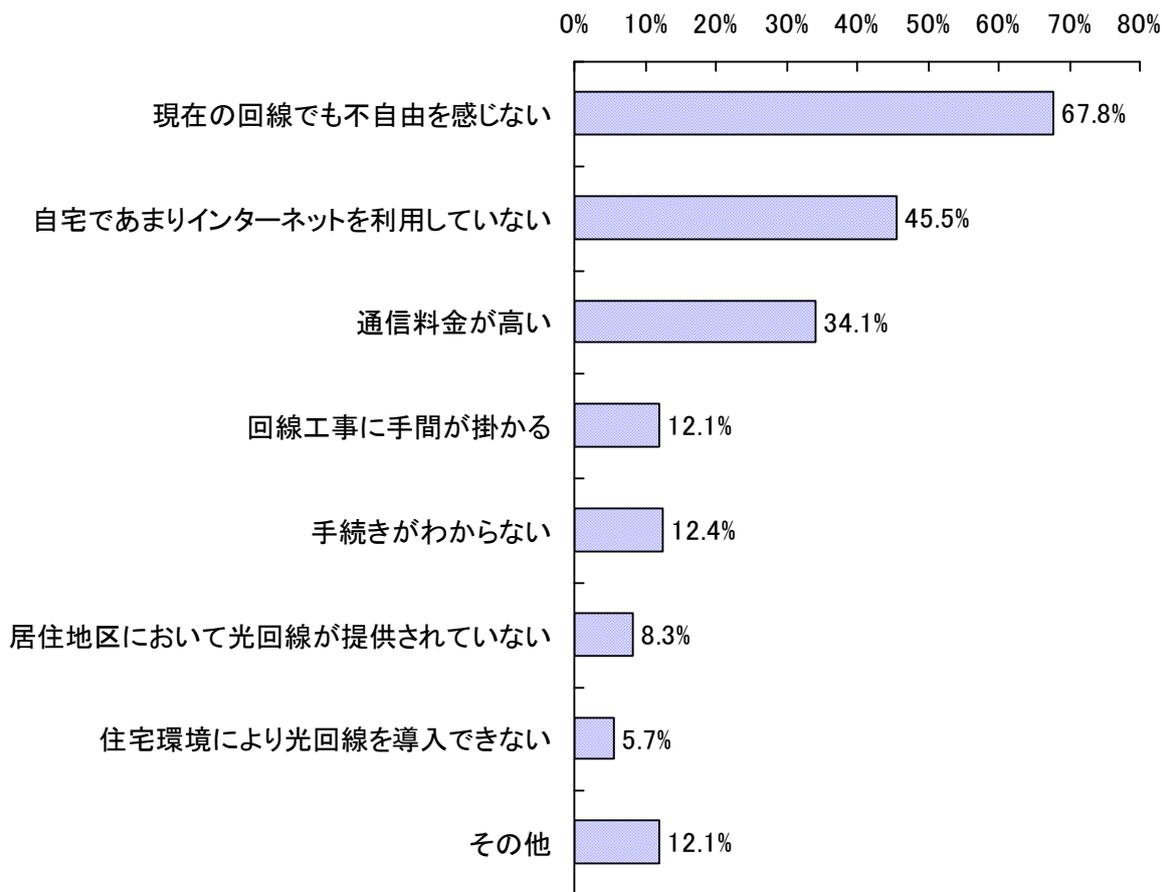
(4) 光回線を導入しない理由

問2 (3). 問2 (2) で「6. 光回線」を選択しなかった方におたずねします。

光回線を導入しない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

自宅で光回線を利用していない家庭の光回線を導入しない理由は、「現在の回線でも不自由を感じない」が最も多く67.8%であった。次いで「自宅であまりインターネットを利用していない」が45.5%、「通信料金が高い」が34.1%であった（図表2-6参照）。

図表2-6 光を使わない理由



3. 個人でのインターネットの利用状況及び情報通信機器の利用状況

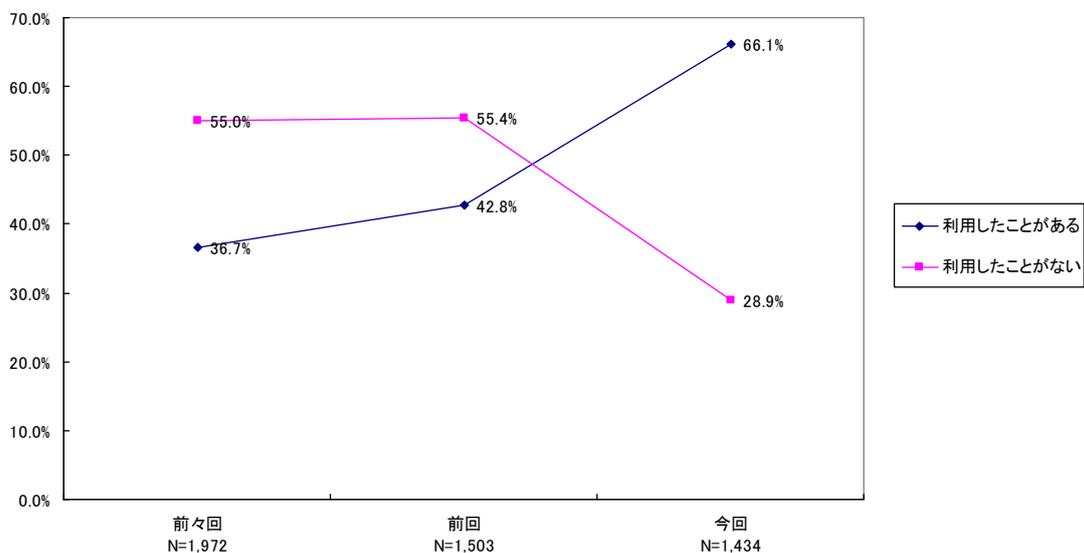
(1) 個人でのインターネット利用率

問3. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。＜単一回答＞

インターネットの利用状況について推移を見ると、「利用したことがある」は、66.1%であった。「利用したことがない」は、28.9%であった（図表3-1参照）。

インターネットの利用率について年齢階層に別に全国平均（「平成22年度通信利用動向調査」総務省実施）との比較を行った。どの年齢層においても、全国平均を下回っているが、70代の全国平均との差が、17.3ポイントと最も大きい（図表3-2参照）。

図表3-1 インターネット利用率の推移



図表3-2 年齢階層別のインターネット利用率（本調査と全国平均との比較）



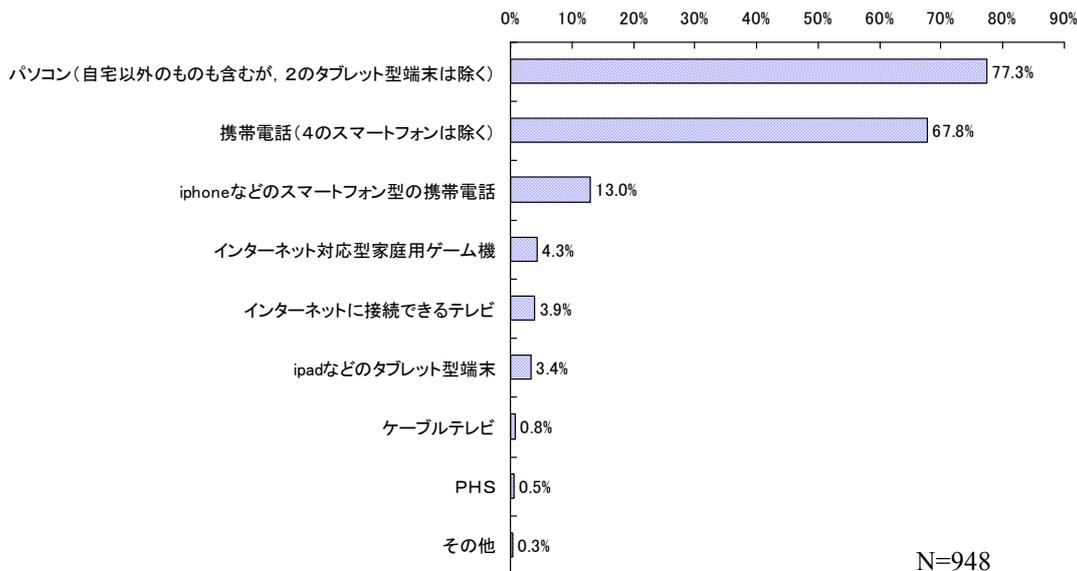
(2) インターネットの利用機器

問4. 問3で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

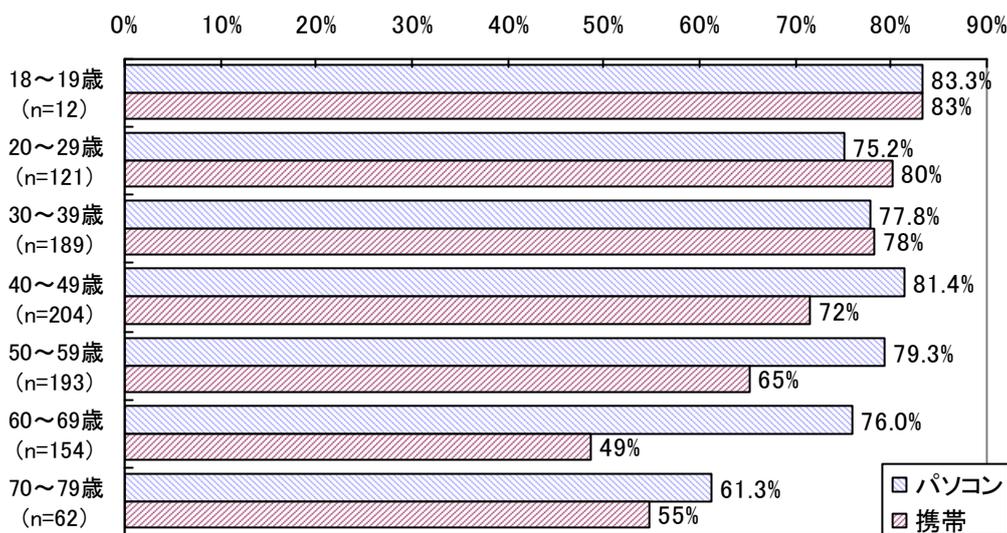
(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「パソコン」の利用率が77.3%と最も多く、次いで「携帯電話」が67.8%、「iphone等のスマートフォン型の携帯電話」が13.0%であった（図表3-3参照）。

図表 3-3 インターネットの利用機器



図表 3-4 年齢階層別のインターネットの利用機器



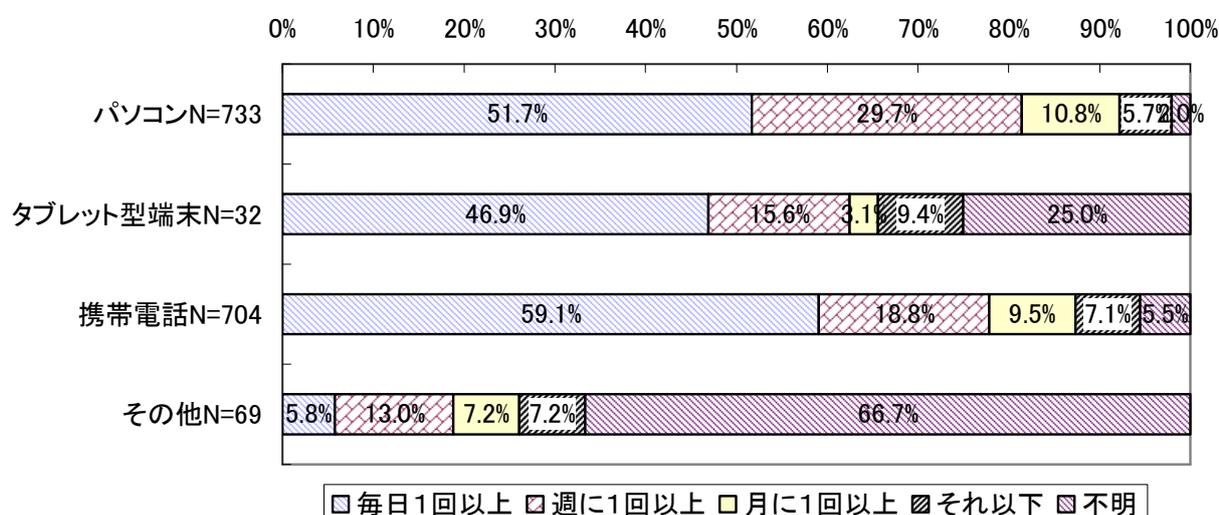
(3) インターネットの利用頻度

問4 (2). 利用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。利用したことがある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

「パソコン」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は51.7%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約8割(81.4%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる。

「携帯電話」からの利用は、インターネット利用者のうち、「毎日少なくとも1回は利用」する割合は59.1%であった。またこれに「週に少なくとも1回は利用」する人を加えると、全体の約7割(77.9%)が週に1回以上の頻度で利用していることになる(図表3-5参照)。

図表3-5 利用機器別のインターネット利用頻度



(4) インターネットの利用場所

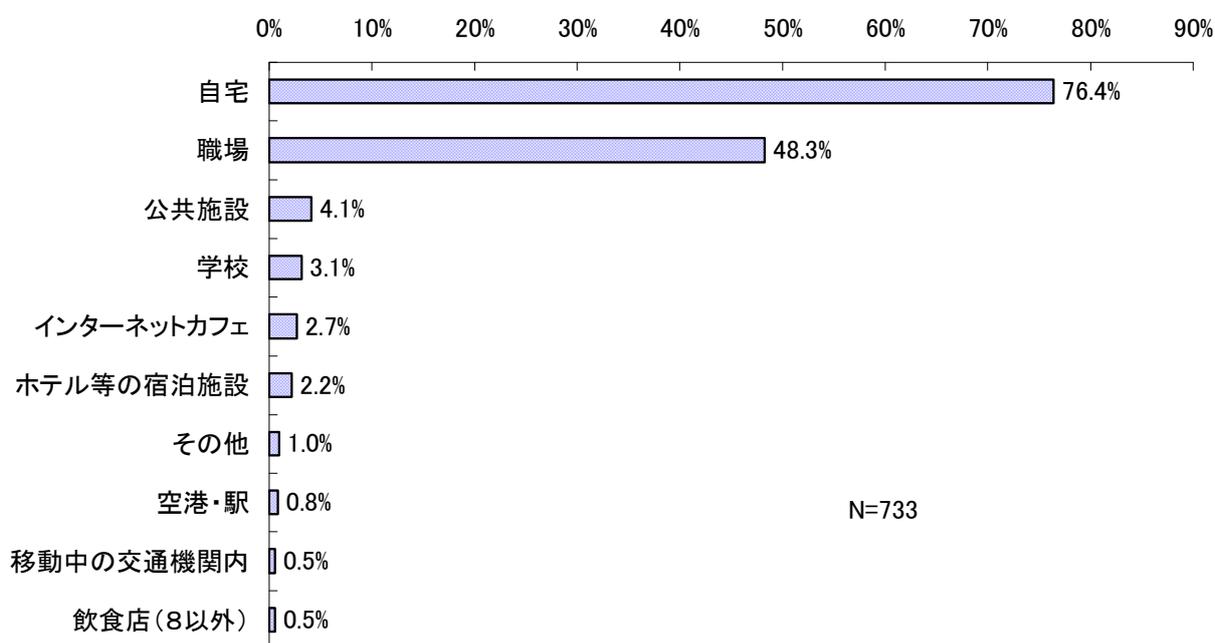
問4 (3). 主にインターネットを利用する場所はどこですか。利用したことのある情報通信機器ごとに、下の1～10の中から当てはまる番号すべてを記入してください。

<複数回答>

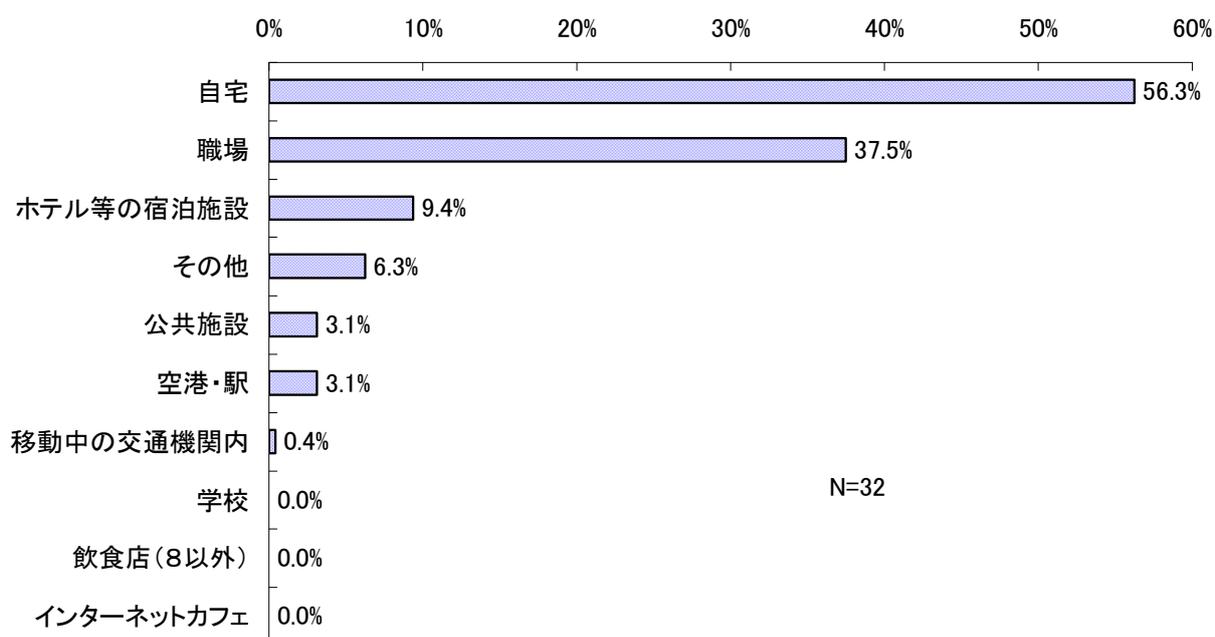
「パソコン」からの利用は、インターネット利用者のうち、「自宅」が76.4%で最も多く、次いで「職場」が48.3%であった。それ以外の項目はいずれも5%を下回った。(図表3-6-1参照)。

「パソコン」からの利用は、インターネット利用者のうち、「自宅」が78.0%で最も多く、次いで「職場」が42.8%であった。「学校」、「インターネットカフェ」はいずれも5%を下回った(図表3-6-3参照)。

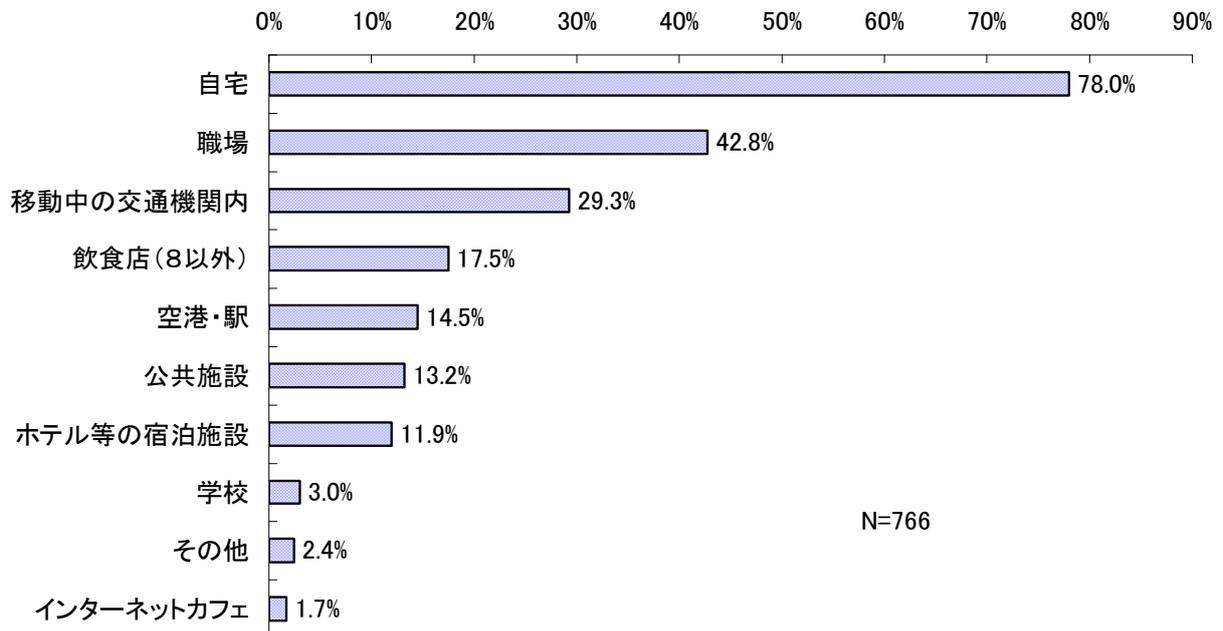
図表3-6-1 パソコンからのインターネットの利用場所



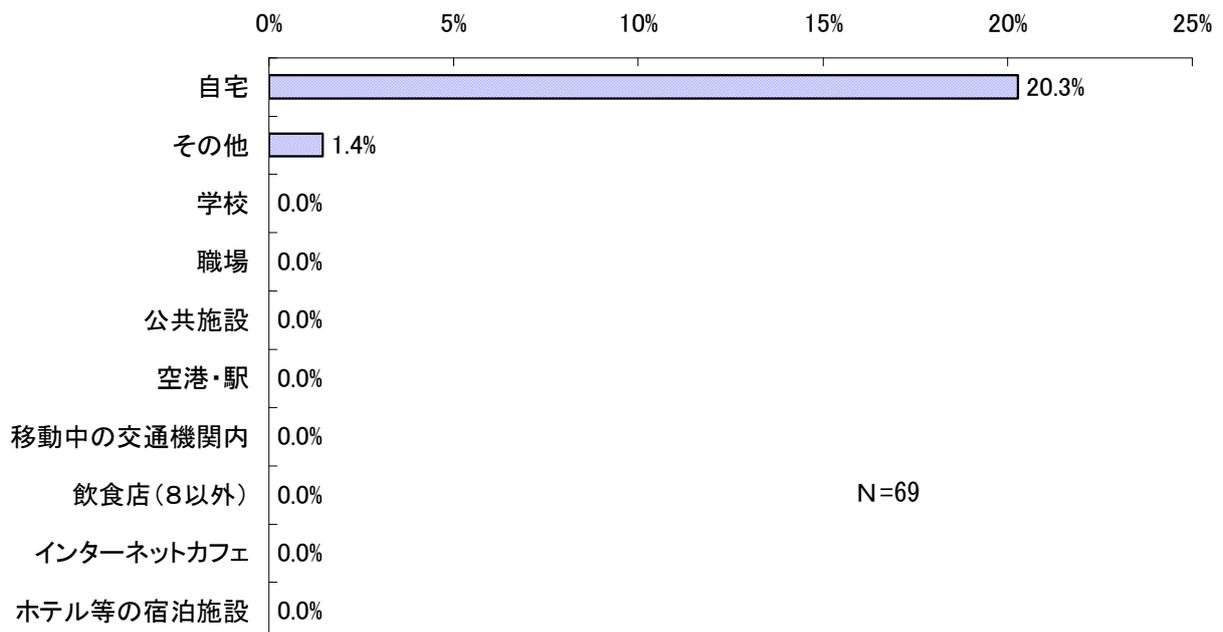
問3-6-2 タブレット型端末を利用する場所



問 3-6-3 携帯電話を利用する場所



問 3-6-4 その他を利用する場所

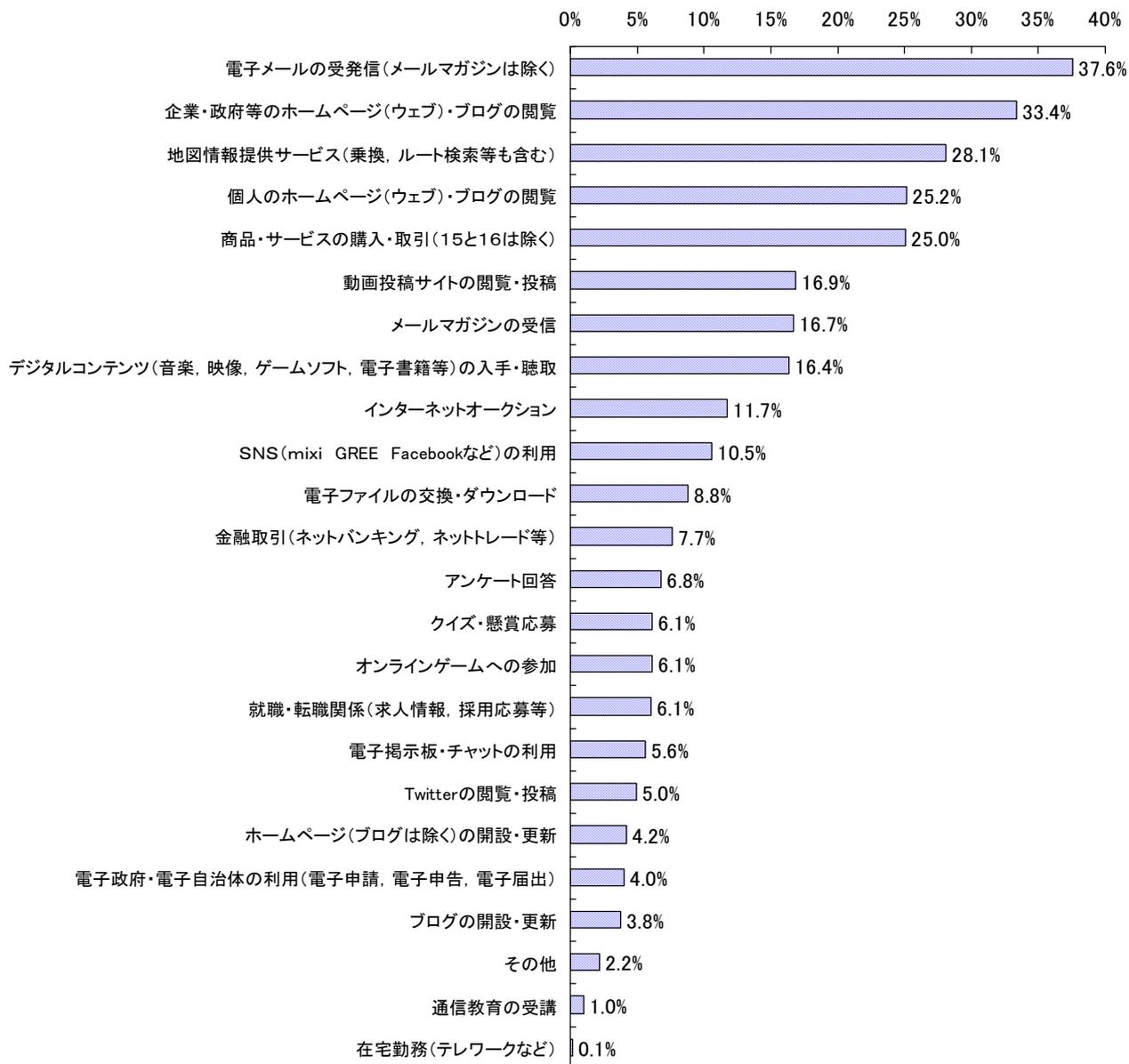


(5) インターネットで利用するサービス

問4 (4). どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「電子メールの送受信」が37.6%であった。次いで「企業・政府のホームページの閲覧」が33.4%であった(図表3-7参照)。

図表3-7 インターネットで利用するサービス



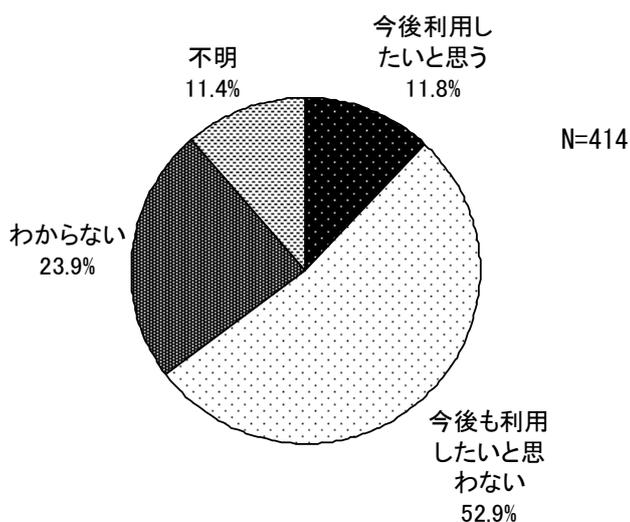
(6) インターネットの利用意向

問5. 問3で「2. 利用していない」を選んだ方におたずねします。今後インターネットを利用したいと思いますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜単一回答＞

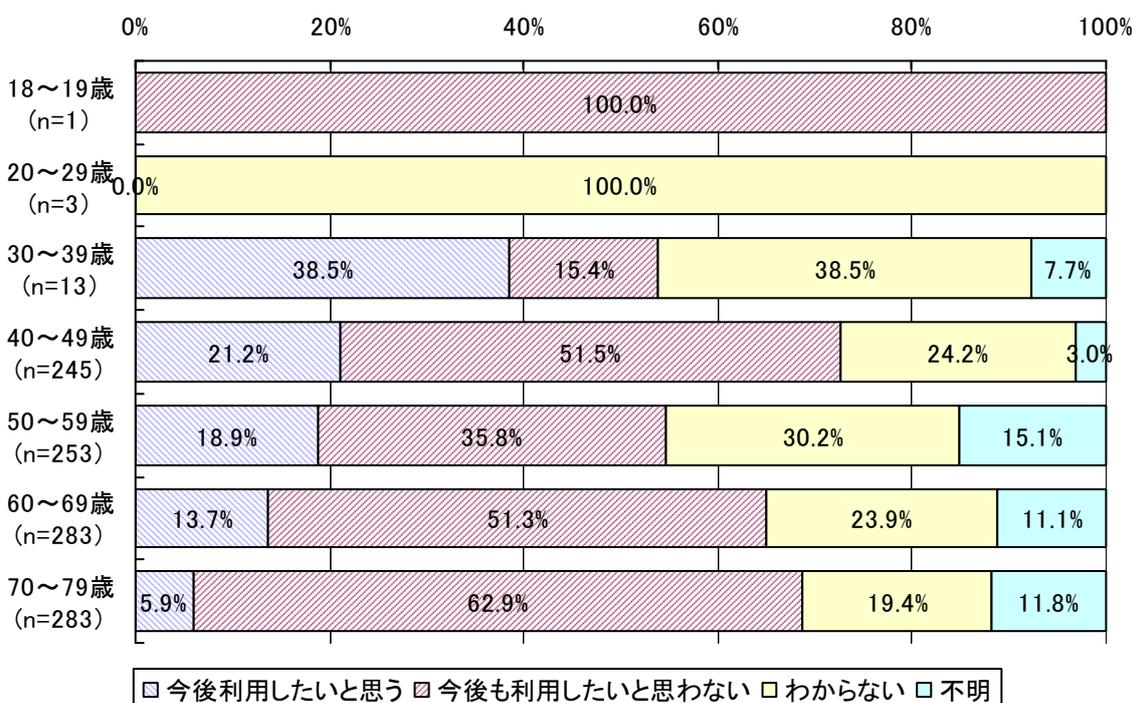
インターネット非利用者のうち、「今後利用したいと思う」が11.8%、「今後も利用したいと思わない」が52.9%で「今後利用したいと思う」を41.1ポイント上回った（図表3-8参照）。

年齢階層別に見ると、40代以上は「今後利用したいと思う」が3割を下回った。（図表3-9参照）。

図表3-8 インターネットの利用意向



図表3-9 年齢階層別のインターネットの利用意向

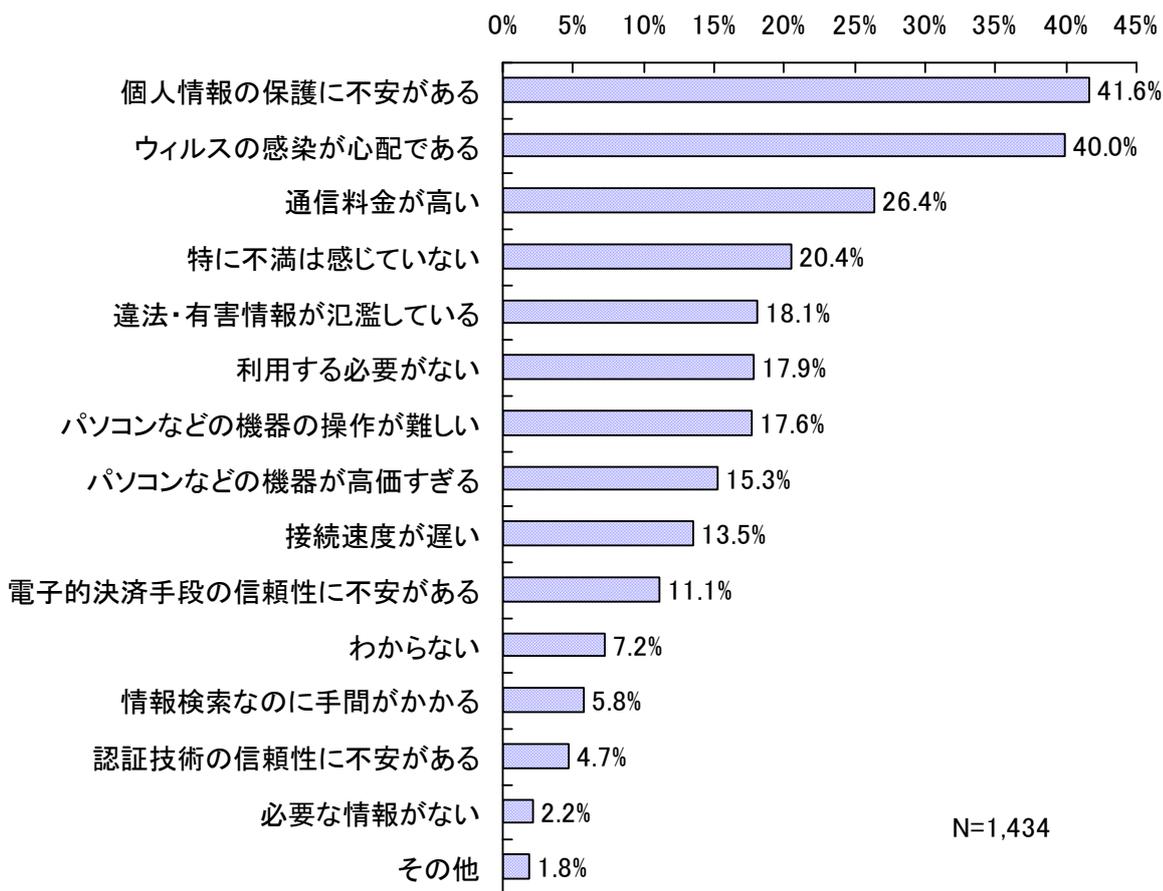


(7) インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由

問6. すべての方におたずねします。インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

インターネットを利用して感じる不安や不満が多かった理由は、「個人情報の保護に不安がある」で41.6%であった。次いで「ウィルスの感染が心配である」が40.0%であった。(図表3-10参照)

図表3-10 インターネットを利用して感じる不安や不満、インターネットを利用しない理由



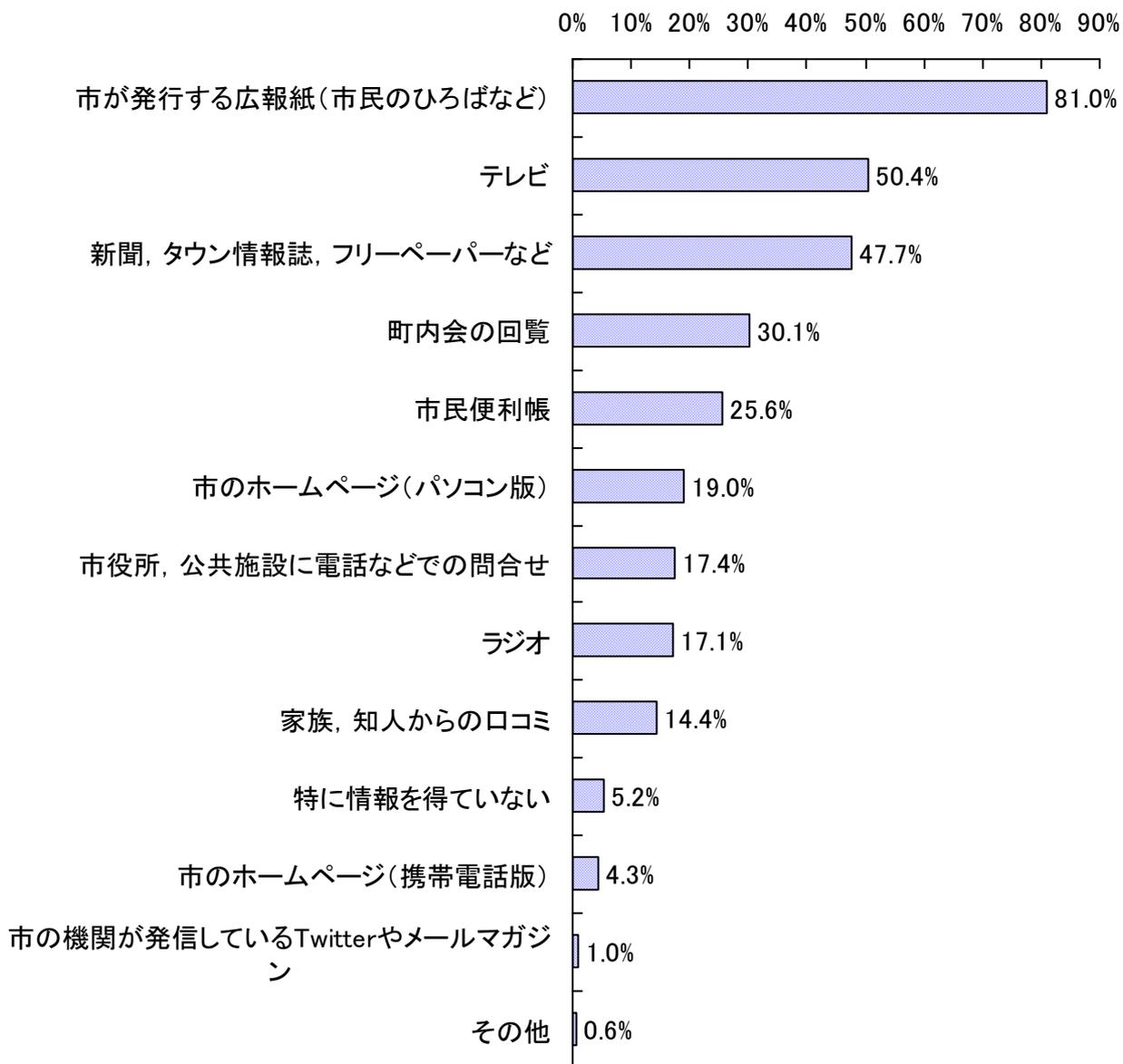
4. 鹿児島市が発信する行政情報の提供方法

(1) 行政情報の入手方法

問6. あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。
次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。〈複数回答〉

鹿児島市が発信する行政情報の入手方法として最も多いのは、「市が発行する広報誌（市民のひろば）」が81.0%で他を大きく上回った。次いで、「テレビ」で50.4%、「新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど」が47.7%で4割超であった。従来の紙媒体や放送による行政情報の入手が多い状況である（図表4-1参照）。

図表4-1 行政情報の入手手段の状況

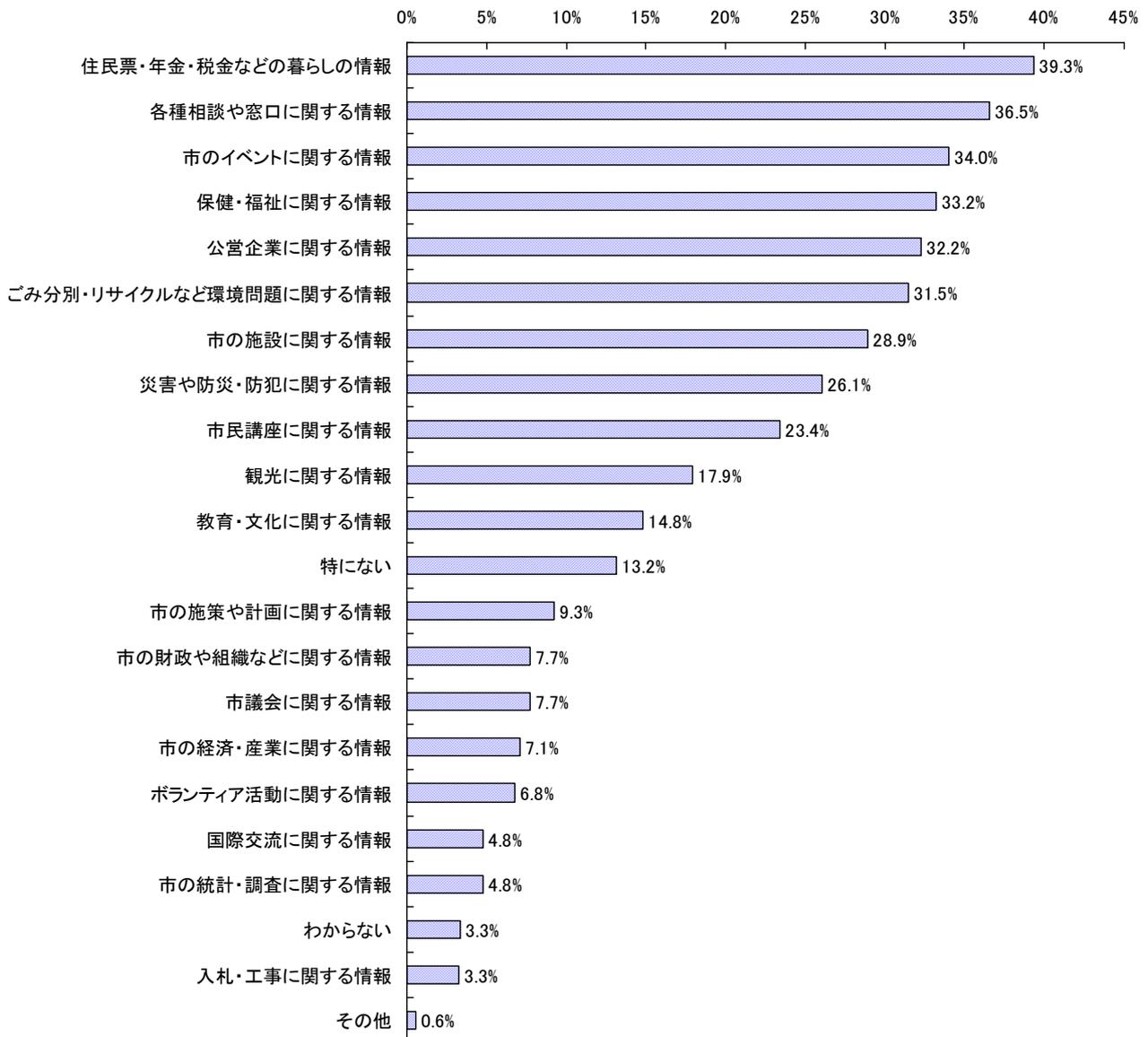


(2) 必要としているまたは関心のある行政情報

問7. あなたが現在必要としている、または関心のある市の情報は、どのような情報ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「住民票・年金・税金など暮らしの情報」が最も多く39.3%であった。次いで「各種相談や窓口に関する情報」が36.5%、「市のイベントに関する情報」が34.0%であった。「市の財政や組織などに関する情報」、「市議会に関する情報」、「ボランティア活動に関する情報」、「市の統計・調査に関する情報」、「入札・工事に関する情報」は1割を下回った（図表4-2参照）。

図表4-2 必要としている、または関心のある行政情報



(3) 市ホームページの利用経験及び評価

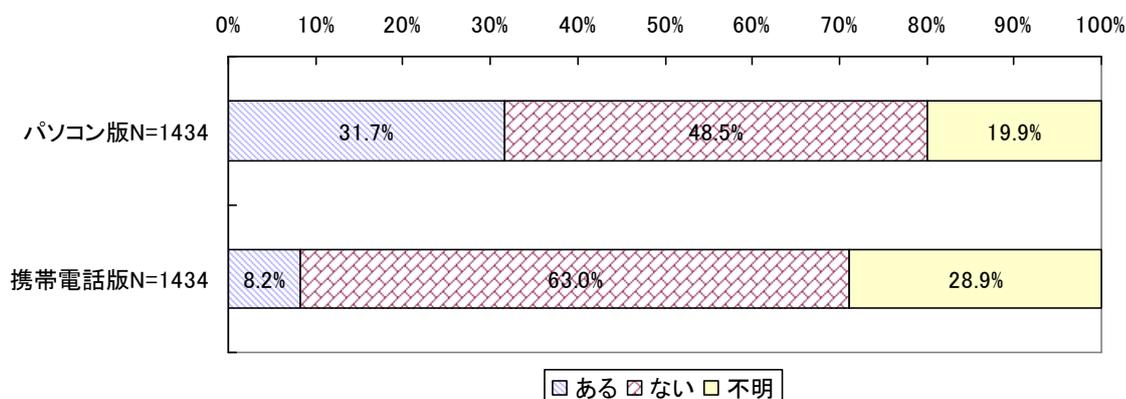
問8 (1). あなたは、鹿児島市のホームページを見たことがありますか。「パソコン」、「携帯電話」ごとに次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。〈単一回答〉

パソコン版のホームページの利用経験者は31.7%、携帯電話版のホームページの利用経験者は8.2%と低く、パソコン版、携帯電話版ともホームページの利用経験者が少ない結果となった(図表4-3参照)。

ホームページに対する満足度としては、利用経験者のうち、「やや不満」・「不満」を合するとパソコン版が15.4%、携帯電話版は22.2%である(図表4-4、図表4-6参照)。

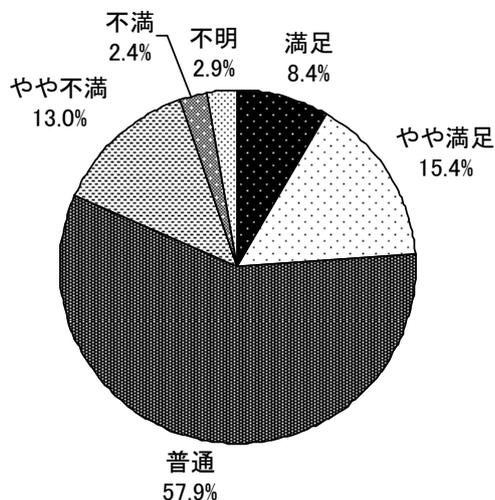
パソコン版、携帯電話版とも不満を感じている理由は、「情報がどこにあるか分からない」と「みづらい」が上位であった(図表4-5、図表4-7参照)。

図表4-3 ホームページの利用経験



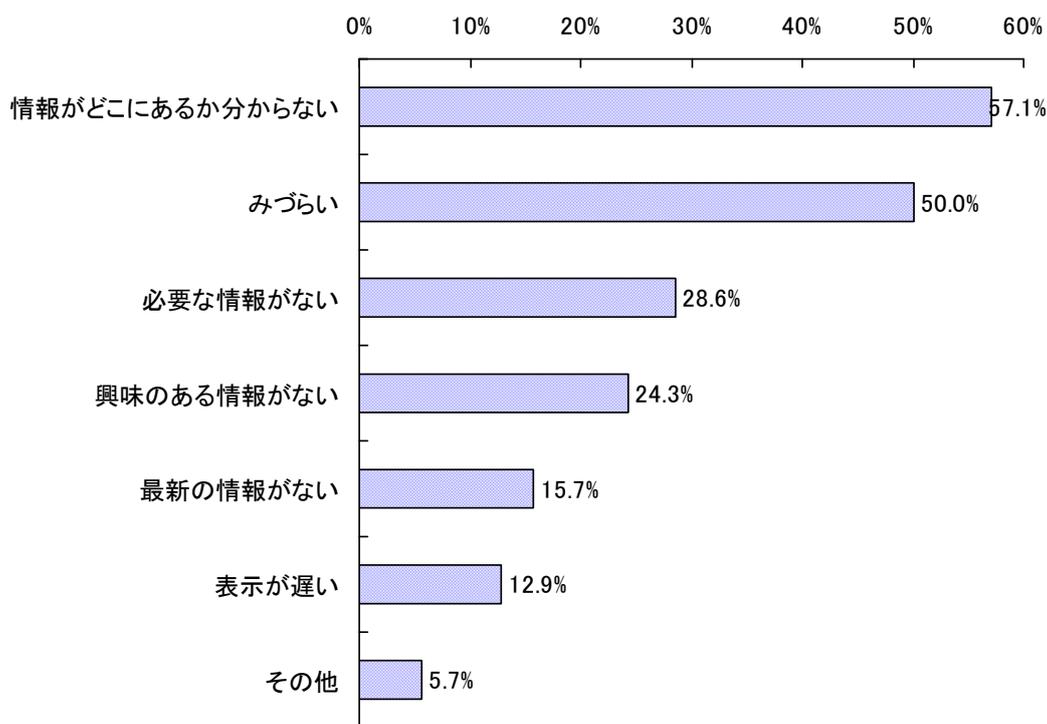
問8(2). 問8(1)のパソコン版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。<単一回答>

図表 4-4 市のパソコン版ホームページの満足度



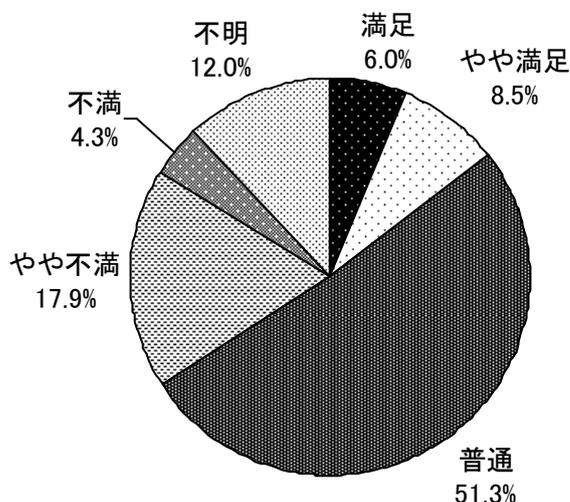
問8(3). 問8(2)で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。<複数回答>

図表 4-5 市のパソコン版ホームページの満足できない理由



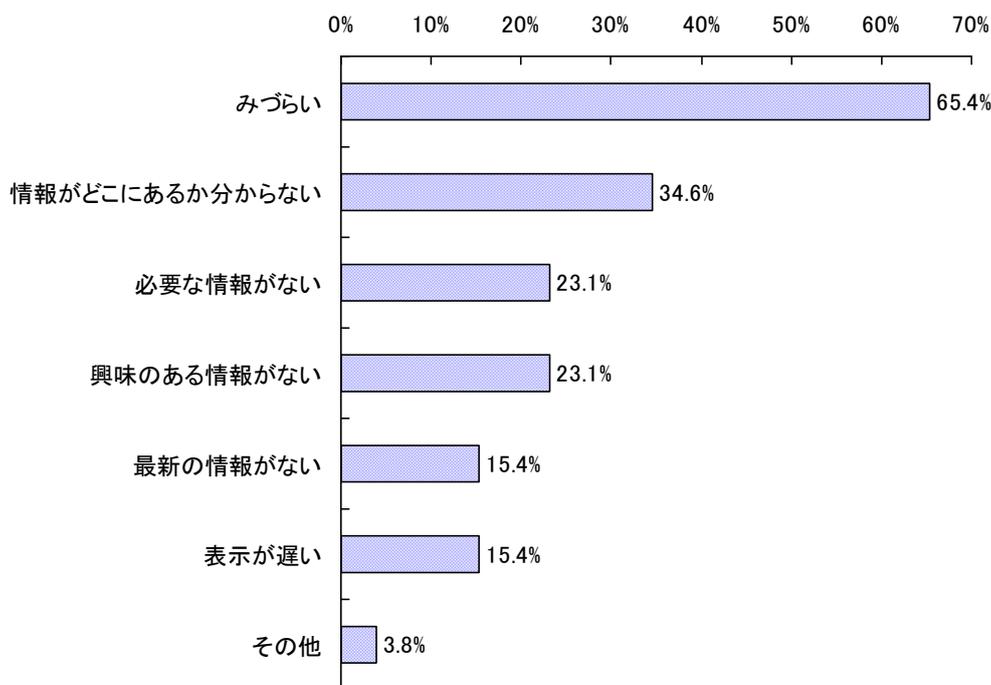
問 8 (4). 問 8 (1) の携帯電話版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号 1 つに○印をつけてください。< 単一回答>

図表 4-6 市の携帯電話版ホームページの満足度



問 8 (5). 問 8 (4) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。< 複数回答>

図表 4-7 市の携帯電話版ホームページの満足できない理由



(4) 市ホームページについての自由意見

問9. 鹿児島市のホームページについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

鹿児島市のホームページについて内容を複数のグループに分類した。探したい情報が見つからない等、操作性や見た目への意見が最も多く挙げられた（図表 4-8 参照）。

図表 4-8 自由意見の分類

回答分類	回答数
ホームページ全体	4 件
操作性や見た目	32 件
内容	18 件
携帯電話による利用	4 件
その他	25 件
合計	83 件

図表 4-9 自由意見の内容

【ホームページ全体】

	性別	年齢
仕事関係で必要なときは hp を使わせてもらいましたがプライベートでは使うことがありません。広い年齢層から見てもらえるような呼びかけや内容の工夫等があればよいのではないのでしょうか。	女	20 歳代
上記にも書いたが、ページによっては粗末な作りである。情報も最新でない場合もある。問い合わせ先のアドレスにメールを送っても返信は一切ない。返信しないのであれば問い合わせ先アドレスをLINKしないで欲しい。	男	30 歳代
古い情報が未整理であること。地域情報に地域的格差があり、差別に感じる。特に観光情報はひどすぎる。合併した旧町の扱いが最低。根底から見直すべき。他の地域の観光事業に関わったが、まさか古里がこれとは・・・。	男	40 歳代
リニューアル前よりは断然良いと思う	男	20 歳代

【操作性や見た目】

	性別	年齢
あることについて知りたいと思っても探しつかないことが多い。	男	30 歳代
鹿児島市に住むもの皆にもっと分かりやすく検索しやすい HP にしてほしい。例えば小さな子どもからお年寄りにも優しい見やすい HP を。	男	20 歳代
検索バーに入力して表示されるページが探しにくかった。	男	30 歳代
知りたいことになかなか真っ直ぐ進めない。あちこち探し当てないと分からないように思います。もう少し分かりやすく見やすい環境を整えて頂けたらと強く思います。結局、電話で問い合わせてしまいました。	女	40 歳代
図・絵(マンガ)等で、分かりやすく表現したら使用しやすいと感じる。専門用語等を多用していると、その時点で見ることがなくなる。	男	40 歳代

少しごちゃごちゃしていて、探したい情報がみつかりませんでした。何度試して、できましたが。	女	30 歳代
すっきりしていて見やすいと思います。介護保険についてよく調べますが、Q&A 集が日々更新されると嬉しいです。どんな質問でもよいのでその答えが載っていると介護者として聞ききたいことも聞きやすくなるし調べるのも楽しめ楽しいです。	女	40 歳代
ずっと以前に鹿児島市と鹿児島県のホームページを見て、がっかりしてから見ていません。 もっと見やすくわかりやすく、鹿児島の特色がパアッと見てわかるようなデザインにしてほしいです。県外の人が見て、鹿児島に行きたいと思わせるような魅力的なホームページを作って下さい。十島村のホームページはとても見やすく、ステキなので参考にして下さい。	女	30 歳代
整理してほしい。	男	20 歳代
専門用語のような言葉が時々出てきて、内容が分かりづらい時がある。	女	30 歳代
転勤で来たので、市の活動紹介(ボランティア等)等はよく内容がわかる。どうしてもかたい感じの画面なのでとっつきにくい感じはある。	男	50 歳代
トップページにあまり多くの項目が表示されていて探したい情報がどこにあるのかわからない。 新着情報画面となるような、市民が必要とする情報のアクセス画面を作ってほしい。	男	50 歳代
トップページの情報が多すぎる。どこに何があるのか、探すのに時間がかかる。パソコン歴 15 年以上ですが、鹿児島市の HP は特に他の HP よりおもしろく、見づらい。	女	30 歳代
とてもシンプルなページです(携帯)あまり楽しくないです。講座も少ないし、流行らないのでしょうか。	女	40 歳代
必要な情報がどこにあるか、本当に分かりづらい(課ごとに情報を載せているせいかな?)	男	30 歳代
プルダウン式の項目も追加してほしい	男	30 歳代
ほぼ毎日閲覧しています。更新もほぼ毎日あってこまめにチェックされてるんだと安心できます。さらにもっとわかりやすくなることを期待しています。	女	40 歳代
前は求めている情報が何局の何かを見れば良いのかわかりづらかったが、少し改善されてきたと思います。県のホームページはひどいです。	女	30 歳代
見やすかったと思います。	女	20 歳代
もう少しシンプルでわかり易く	男	40 歳代
もう少しスペースをとって見やすくするとよいと思う(特にトップページ)	女	30 歳代
もう少しわかりやすくコンパクトにしてみたらよいと思う。(ちょっと見にくい)	男	30 歳代
もう少し分かりやすくして欲しいです。子供もいるので一緒にできるイベント情報などものせて欲しいです。	女	20 歳代
目的までの検索にややかかる	男	60 歳代
文字が一画面に一気に出てきすぎて、さがしにくい。	男	20 歳代
文字情報が多くわかりづらいイメージ	女	30 歳代
もっとカラフルに絵を入れたり。わかりやすく、見やすくしたらいいと思います。	女	30 歳代

もっと工夫してください。	男	30 歳代
もっと見易くできないか。興味のある情報がない。	男	60 歳代
ややこみいつている感じがする。高齢者や使い慣れない人たちが情報を検索しやすいうようにしたほうがいように思う。	女	30 歳代
子どもでも楽しくなるHPを作成すると、より親しみがわくのでは。例えば色んなジャンル振り分けを芋や櫻島、黒糖などの絵で分ける、移動に人間(マンガチックで構わない)が動いて開く(見たい所が)みたいな探検しているような感じ。役所役所しすぎてあきるのでもっと作っている人も楽しいHPがよい。	女	30 歳代
必要な情報にたどりつくまでに何回もクリックしないとイケない。市民への情報提供の観点から見直してほしい。	男	40 歳代

【内容】

i-map は仕事上よく利用しますが便利だと思う。 (自分の知りたい情報が)どの課にあてはまるのか分からず結局電話をして聞くことが多い。 市のホームページからツイッター等に連動して最新の情報をアップしても良いと思う。ホームページ上はシンプルにしてツイッター等で情報をどんどん流す。	男	30 歳代
今まで部分的に見て見ましたが、全部すべて閲覧しました。すばらしいホームページです。親しみやすいWebです。市民に新しい情報を親しみやすいWebに。ますますの発展を祈願してます。	男	70 歳代
いろいろな情報が載っており、良いと思うし、役に立つ。他のメディアで、その存在をアピールしてほしい。	男	50 歳代
頑張ってください。特に教育委員会。ほとんど見る価値なし。みたことない。県教委のホームページはよく見ます。少しは参考にしたら。	女	40 歳代
休日の市民サービスステーションの手続きできる内容を詳細に発信してほしい。。	男	40 歳代
興味がないが財政状況は心配。県と同じようにいずれ破産する恐れを感じているので財政状況を掲載してほしい。	男	50 歳代
現在の情報で不自由を感じない	女	70 歳代
事細かな情報が欲しい(事案例)	男	50 歳代
ゴミ情報が途中で途絶えた。	女	50 歳代
施設等などのガイドに地図があるといいと思う。	男	60 歳代
市電、フェリーなどの時間をわかりやすく見られるようにして下さい。	女	30 歳代
次年度の情報をもっと早く更新してほしい。特に子どもの予防接種など3月の早いうちから次年度の実施日をもとに予定を組みたいがなかなか更新されない。	男	30 歳代
就園奨励費について	女	30 歳代
例えばレジャー観光 県外から来る人たちがこのページをよく開くと思うが「たったこんだけなのか?!」と思ったり観光スポットはこれだけなのか?と思ったりはしないだろうか?もう少し具体的にアップするべきではないかと思う。	男	30 歳代
常にタイムリーな情報提供(発信)	男	40 歳代

防災対策 地域ごとの避難場所等個人としては何も知らない。マップ等あればいいと思う。	女	50 歳代
良くも無く悪くも無くなのでもう少し皆の興味をひく話題を楽しく紹介してもらいたいと思います。例えば、海外旅行の紹介や国際交流のあり方、草花の育て方等、幅広い分野で紹介や教えていただいたりを期待します。	女	50 歳代
入札結果等、市民への情報公開が不十分であると考え。自分達の身近な地域で行われる工事設計等、受注の状況等を知っておくことは、行政への信頼もさらに高めるものとなる。	男	60 歳代

【内容】

ケイタイ各メーカーからのお知らせメール等で、重要な事等を自動発信してくれると良いのではと思う！	女	50 歳代
携帯で見れるということをもっと告知しても良いと思う。検索して知った事が多かった。	女	20 歳代
携帯電話版のホームページがあることを、知っている人は少ないと思うので、もっと周知してほしい。携帯版を知っていれば、災害などあった時に助かる人が多いと思う。	女	60 歳代
ゴミカレンダーが携帯で見たいです。	女	30 歳代

【その他】

今更「パソコン」って言う感じです。新聞は特に眼を通し、TV の地方放送も関心大です。しかし”ヒマ”な時間にパソコンのページを見たいのは山々ですが。	女	70 歳代
今までホームページを見る必要性がなかった。	男	60 歳代
県のホームページ等にはよく接続するが、職場以外自宅ではあんまり使用しないので市のホームページのことを認識していなかった。	女	50 歳代
高齢者でもPCが使えるように簡単なPCがあれば使用できるのですが、当面は市民の広場を読みます。	女	70 歳代
高齢者用のパソコン教室を増やしてほしい。	女	60 歳代
今後は見てみたいと思います。	男	50 歳代
最近テレビなど又今回の調査何れもホームページとかインターネットとかを利用して下さいで終わっていますがそういう物を利用していない人も多々居ると思われます。(特に高齢者)誰にでもわかる手段はないでしょうか	男	60 歳代
視覚障害者の中で点字ができない人が多い。中途が多いのでハートピアからの音声テープがとてもありがたいです。	女	60 歳代
仕事をしてますと同僚からの情報等もあり、今現在必要と思いませんが、気になること等あれば自分で足を運び聞くようにしています。	女	50 歳代

市長にツイッターをして考えを聞かせて欲しい。サンサンコール便利です。トップにりぼん館のタグをつけてみては。そこに子育て支援園もホームページをつくり、Web上でイベントが見れるといいと思う。あと、クレセールを各福祉館においてほしい。市と社会福祉協会をもっと連携してみてもいい。クレセールはすごくいい。「なかまっち」にはたまにしか行けず、車もないから日頃は地元しか動かないので、車がなくても子育てできる街になれば、小さい時代は子育てに集中できるはずだし、経済的にうくからパートに無理にいかなくてもよいかと思う。福祉館でコミュできた。もっと多くのママが近所で楽しみを見つけられるといいと思う。我が福祉館は指導員のおばちゃんがいいです。	女	20 歳代
市への電話問い合わせの方が、要領が得やすい。詳しく内容が聞ける(HPより手っ取り早い)	男	70 歳代
市民に対する情報のPRを徹底する。①段々と地域の間関係が薄くなっている(隣りは誰なのか?)②地域の組織化を計る。東日本大震災でよく分かったと思うが、地域(隣り関係)の繋がりが、いかに緊急時には大事ということを知りました。地域によっては町も丁も組織されず首長もいない。誰がこの地域を引っ張っていくのか全然バラバラな地域もある。これでは横の繋がりがなんてできるわけがない。徹底した地域の組織化を計る事を求めます。	男	50 歳代
市民の広場、町内会の回覧板で充分です		
職場で仕事上、インターネットを使用することはありましたが鹿児島市のホームページは、見た事はありませんでした。情報機器に弱いので。でも、公共施設で見てもいいかなと思いました。色んな情報があるのではと。	女	50 歳代
大事な税金です。有効に有意義にしようしていただきたいと願っております。	女	40 歳代
特別興味のない行政広報はまっぴらごめん、見たくないです。	男	50 歳代
パソコンをする意思のない人(老人)にはホームページが充実するほど不便になるのではと不安です。	女	60 歳代
パソコンをもっていないので新聞などで情報を。乗せてもらったように町内会の回覧でもよいのでは。	男	60 歳代
必要な時は直接聞く事が一番よい。ホームページも見たことがない。	女	70 歳代
ホームページ以前に、年寄りには情報収集したくとも、パソコン、携帯電話等ほどの程度の機器(接続付帯機器を含めて)が最小限必要なのか、月額支払い料金等ほどの程度になるのか、年寄りが使用する場合を事例として算出したものを、市の広報誌で掲載して欲しい。それに従って講習会を開いて欲しい。年寄りにはサッパリ解らない機械じゃっど。若者と同一に扱って理解できず、前へ進めない。	男	60 歳代
ホームページを開くより。現場へ行って訪ねたほうが分かりやすい。	男	60 歳代
ホームページを見る方法が判りません。パソコンを用意するか迷っています。年齢的なものや経済的にも考えてしまいます。用意しても使わなければなにもなりません。	女	60 歳代

毎月発行される”市民のひろば”で十分情報を得ているし、楽しみにしています。大切なところは切り抜き保管し、又何度も読み返すことができるので重宝しています。	女	60 歳代
見ていないので特に意見はありません。唯、家族は利用しているはずで、必要なものかと思います。	男	70 歳代
もっと自ら調べる知る事に積極的になるべきですね。今後は市の活動等に目を向けてみます。	女	50 歳代

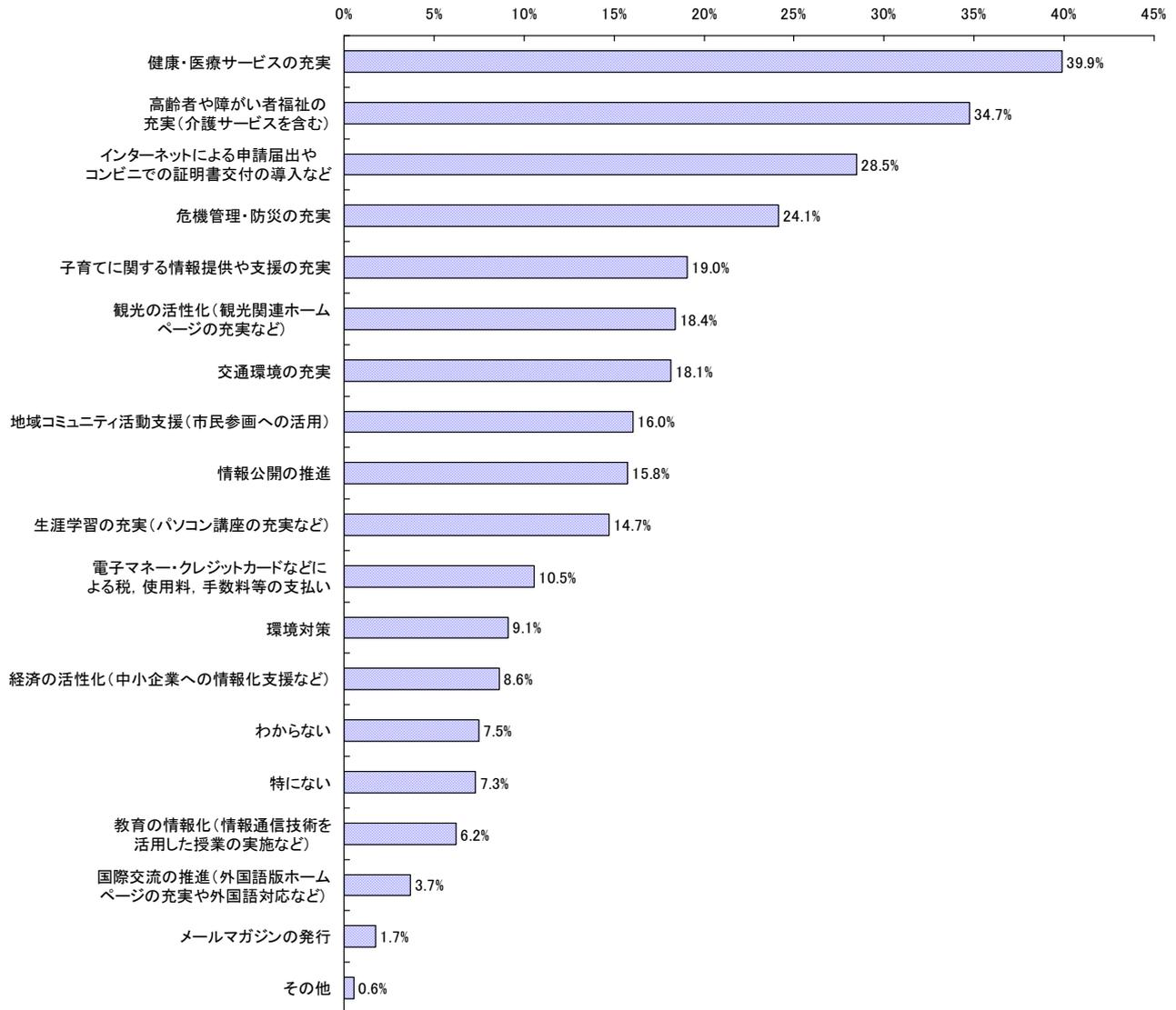
5. 情報化施策に関するニーズ

(1) 情報化による市民サービスの利用意向

問 10. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用すべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

「健康・医療・福祉サービスの充実」が39.9%と最も高く、次いで、「高齢者や障がい者福祉の充実」が34.7%、「インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など」が28.5%であった。

図表 5-1 情報化による市民サービスの利用意向

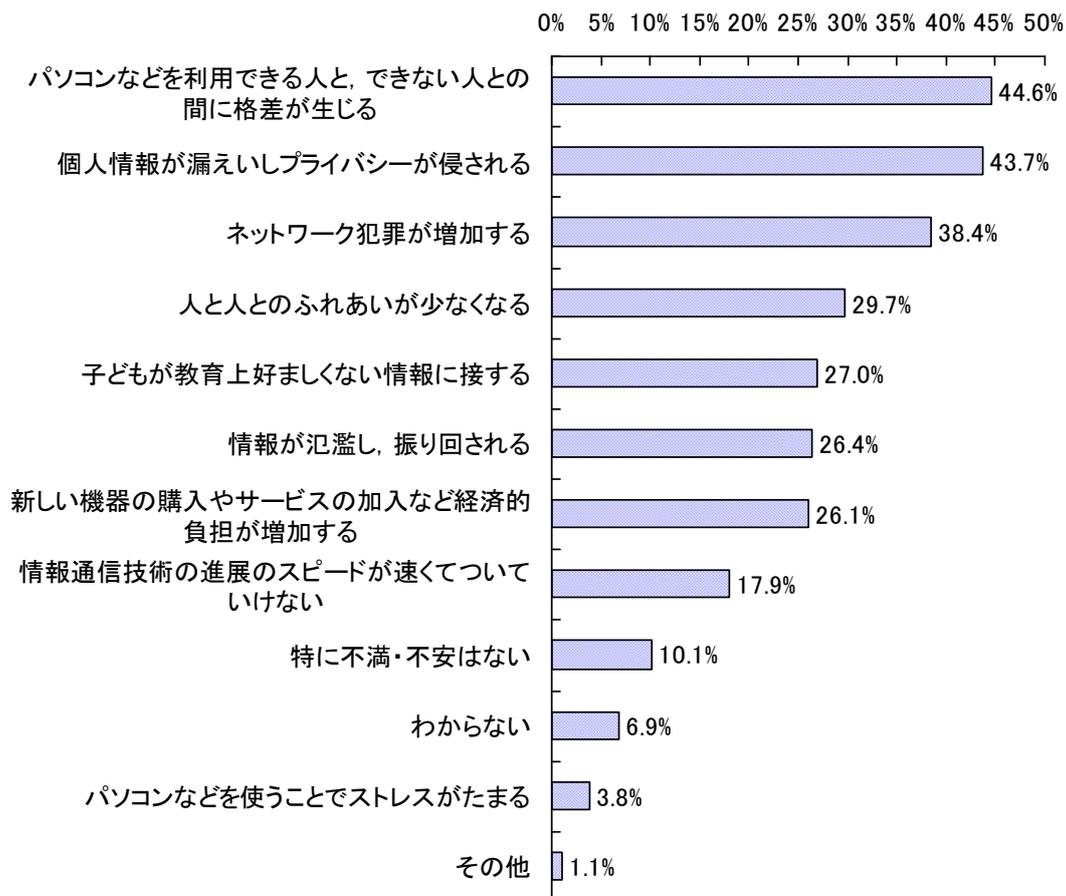


(2) 情報化に対する不安や不満

問 11. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。＜複数回答＞

「パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる」が44.6%で最も多く、次いで、「個人情報が漏えいしプライバシーが侵される」が43.7%、「ネットワーク犯罪が増加する」が38.4%であった。

図表 5-2 情報化に対する不安や不満

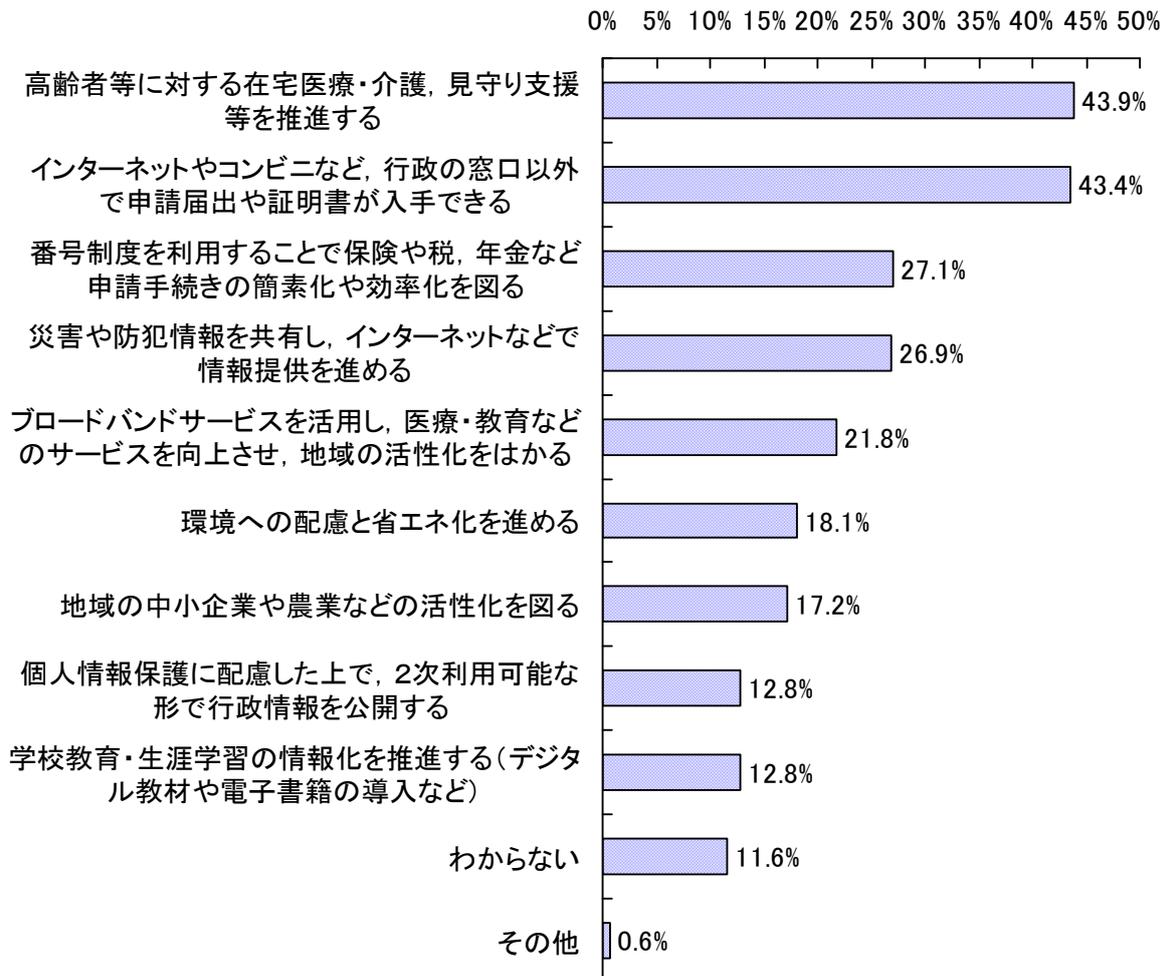


(3) 今後の取り組みに必要なこと

問 12. 現在、国の機関において、情報通信技術を活用した以下の取り組みが検討されていますが、その中で鹿児島市には、どのような取り組みが特に必要であると思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。〈3つまで回答〉

「高齢者などに対する在宅医療・介護、見守り支援などを推進する」が43.9%で最も多く、次いで、「インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる」が43.4%、「番号制度を利用することで保険や税、年金など申請手続きの簡素化や効率化を図る」が27.1%であった。

図表 5-2 情報化に対する不安や不満



(4) 情報化施策についての自由意見

問 13. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

自由意見に寄せられた意見について内容を複数のグループに分類した。高齢者やパソコン等の情報通信機器を持たない情報弱者へ配慮した施策への意見が最も多く、次いで、情報通信技術を活用した市民サービスの充実への意見も多く挙げられた。

図表 5-3 自由意見の分類

回答分類	回答数
情報弱者への配慮	46 件
情報化に対する不安・不満	18 件
インターネットによる情報発信の充実	9 件
セキュリティ対策の充実	9 件
情報通信技術を活用した市民サービスの充実	23 件
コスト問題	2 件
その他	45 件
合計	152 件

図表 5-4 自由意見の内容

【情報弱者への配慮】

	性別	年齢
高齢者が困ることがないように気をつけてほしい。市民の負担(通信料など)がないようにしてほしい。(地デジ化では、お金がかかりました)	女	40 歳代
高齢者でもわかりやすい、利用しやすい環境を整備して下さい。	男	30 歳代
高齢者等でインターネット等利用者は少なく、高齢者は情報化について行けない面が多くある。	男	70 歳代
高齢者に限らずインターネットや通信機器の得意でない方も多くいらっしゃるかと思います。また、直接話して説明してほしいと思われる方も…。そういったところもとりにほしのないようにして頂きたい。公共機関の窓口の方というのはあまり愛想がよろしくないのが不快になることも多々あります。	女	40 歳代
高齢者には難しい部分があり、格差が生じるのではないのでしょうか。簡素化はある程度は必要かもしれませんが、現状では無理かもしれません。	女	50 歳代
高齢者はパソコン等の取り扱いができない。鹿児島市の行政情報を知るには【市民のひろば】が常である。ホームページにはどのようなものが掲載されているのか？高齢者世帯を対象とした広報誌とは考えられないものか？	男	70 歳代
高齢のためか、いま新たな情報手段等あまり要望等ありません。	男	70 歳代
(その他)今は1人で何もかも出来ますが、体の高齢化にいくにつれて、私は唯人といません。先の事を考えると、友達も信じる人もいません。1人で老いていくのを進んで行くのかと淋しく不安に思います。相談する事になりますが、わずかな人生ですが、現在身内も子もなく唯1人老いていく今日です。毎日1日1日を体をいたわりながら生活しています。先のことを考えるとどうかなるだろうと…	女	70 歳代

①現在の所、自分自身には特に関係のない世界のことと感じている。②インターネット、IT 関連機器の操作が出来れば思いも異なるかもしれないとも考える。	男	70 歳代
google の検索のようにもしかして・・・のようなヒントがあれば嬉しい。自分の知りたい情報にはやくたどりつけるかなと思います。	女	50 歳代
IT の推進に当たって「地デジ化」への対応と同様機会整備のための国の支援や地域単位の救済等が必要と思います。特に高齢者への配慮が必要と思います。「市政の広場」は大変読みやすく活用していますが時代の流れと共に無くなっていくのでしょうか。	男	50 歳代
PC 使えない方への情報保証。効率化することも大切だと思うが、使えない方への配慮も必要。(どんなにインターネットが普及しても広報や役所での手続きは今まで通り必要だと思う)PC で手続きを行う際、初めての方わからない方への十分な説明と丁寧な対応。(効率化したいのは役所の都合。初めて使う人、使い方がわからない人)に対する親切な対応。説明は聞きたくない。見たくない)個人情報の流出の問題。その際はどのような対応をするのか。	女	20 歳代
あまり子供達が外で遊んだり、人との関わり周囲の人との関わりがなく、親も共働きが増えて、子供だけの留守番やインターネット、携帯の普及でイジメも周りに気づかれなかったり親や友達などに何も言えず、ほかの人やネット上の友達しかできなくなってきている気がします。インターネットは、便利な反面怖い事や危ない事も多いと思います。	女	20 歳代
インターネットにはとても興味がありますが、パソコンを使えない為(持っていない為)あきらめています。やはりお金がかかります。ですから広報紙などでより詳しく教えていただくと助かります。今後はもっと使える人、使えない人との差が出てくるような気がします。	女	50 歳代
インターネットを使っている人と無縁の人との間にある情報格差、意識の違いはどのようなものなのか調査して公開して欲しい。	女	30 歳代
多くの年齢の方が利用できる、わかり易いシステムの構築、また利用内容のマニュアルの作成。わかっている人間の自己満足による体裁の良いシステムではなくわからない老人などが理解できるやさしいシステムをつくってほしい。パソコンなどの利用説明など専門家などわかる簡単な用語も、一般の人にはなかなか理解しづらく有効な課活用は難しい。易しいシステムを考えてください。	男	40 歳代
鹿児島は高齢者の多い地域であり、それだけ住みやすい生活しやすい場所でもあると思います。その高齢者の方々すいずみまで情報が行き届くような情報化を目指して下さい。(地域が一体となるような温かさも残してまた便利な通信機器も活かして頂けたら嬉しいです)	女	40 歳代
カタカナ用語は理解が困難である。高齢者に理解しやすい言葉で表現してもらいたい。	女	70 歳代
学校でもっと詳しくパソコンの使い方を教えてほしい。使える人使えない人の差が大きすぎる。	男	20 歳代

言葉自体が難しく理解するが大変です。分かり易く表示して下さると助かります。今回の用語説明のように。用語説明書ははずしてしまいました。今後のためにもらいます。	男	50 歳代
子供がインターネットを利用していますが、私はあまり利用しない。	男	60 歳代
市民サービス向上につながる情報化施策の普及を期待する反面、情報化による難民(高齢者)等への配慮が必要と感じます。	女	60 歳代
情報格差 地域・世代による現象を生まないように進めていってほしいと思います。 個人情報 個人情報流出事故に十分注意してほしいです。行政で個人情報を取扱う人たちの意識改善をお願いしたいです。個人情報を託す私達が安心して、情報利用できるように。	女	70 歳代
情報化に関しては、色んな分野で日進月歩で進んでいます。使い方、内容を把握できている人と全く判らないでいる人の格差が出て来ていると思います。私の家でも地上デジタルテレビに買い換えましたが、画質が綺麗になりました。しかし、それ以外に何が良くなったか全く判りません。「地デジ」にする必要があったのか？お金を払ってテレビを“買わされた”意味があったのでしょうか！	男	70 歳代
情報化の波に乗れない年配の方々に対する配慮を忘れずに進めて頂きたいと思います。	男	70 歳代
情報機器などを使える人と使えない人との差。市内の場所によっては情報(電波)が届かない所もある。	男	30 歳代
情報機器の操作に関する学習の場を、特に高齢者に与えていただけると有難いと思います。	男	70 歳代
全市民が平等に情報を得ることが出来るように十分考慮いただきたい。高齢者や子どもたちにおいては自らで通信機器が備えられる家庭も多々あろうかと思われまます。細部まで検討され、社会からはみ出す格差を作る施策にならないよう願います。	男	50 歳代
地域単位でのパソコン講習やインターネットを体験できる(公民館などで)ようになれば、もっと良さが分かるのではないかと？	男	30 歳代
長寿高齢者に解りやすい情報を公開してほしい。	女	20 歳代
得意、不得意では世の中に取り残され、学べなくなり、進歩発展にブレーキとなるでしょう。苦手と思い込んでいる人々に教えればいいのです。今や、老人も携帯電話を持つ時代になりました。ネットも PC も同じです。少しずつ必要なポイントだけ教えれば教育すればいいのです。ツイッター等も同じです。マイナス面を恐れては進みません。		
年齢が上がると文章を気長に読んだり(視力等が衰えるせいもあり)説明を読み理解したら新しい機器に対応する能力がなくなります。情報化＝パソコン利用ということではないと思いますが、不得手な人も多くいて均等に情報が伝わらないことも考えられます。情報化を進めるのであれば端末操作の説明会など市民が平等にしようできる環境づくりが必要となると思います。	女	50 歳代

年齢格差に対する対策を充分考慮の上高齢者に配慮した情報化施策を必要とします。	女	40 歳代
パソコンを購入したいが、購入して習っても無駄になるようで購入しない。高価です。国民年金では、食べるので精一杯です。	男	50 歳代
番号制度について、現代社会は色々なものにカード制度になっておりますが(例)銀行等の番号(キャッシュカードのこと)ややもすると忘れがちで年齢を重ねるとともに不安を感じます。以前のように通帳と印鑑持参で窓口のところで記入して、わからなければ窓口の人に聞くなどして時間や手間をかけますが自分で管理できて安全なような気がします。今の世の中何が起きるかわからない。人を信じることすらままならない世の中で保険や税、年金等の手続きの簡素化等言うてはおれなしのではないのでしょうか。自分で考える力が衰えたときどうなるのでしょうか。人間の一生を考えていただきたい。いつまでも考える力がはっきり働くわけではありません。私は反対です。自分の顔写真と証明するものがあれば理解していただくと、そのような仕組みで良いのではと思います。		70 歳代
一人暮らしの聴覚障害者への情報保障のありかたを考え直してほしい。	男	60 歳代
夫婦共パソコンが使用できない	男	70 歳代
便利になる一方でその変化についておけない人々もおります。(わたしもとまどうことがあります)便利になるのはいいことですが、問い合わせの窓口と親切な対応をかならずお願いします。すべての人に優しい施策をおねがいします。	女	50 歳代
ホームページを利用させていただいていますが検索時に少し不自由を感じています。もうすこしわかり易く興味を持てるようにしていただければと思っています。ご検討をよろしくお願いします。	女	50 歳代
孫がパソコン、インターネット他を使っていますが私は携帯電話だけです。何か知りたいときは孫に調べてもらっています。	男	70 歳代
みんなが平等に情報を得られるように工夫すべき。(インターネットを使える人と使えない人との差をうめる)	女	60 歳代
申し訳ありませんが、携帯電話でのメールをかおくと時々送信・受信すること以外は最新の通信方法を知りません。その為、情報化施策についてのコメントの申し上げようがなく、お役に立てなくて、誠に申し訳なく思っております。お許くださいませ。	男	40 歳代
私たち子育て世代としては教育に関する分野で情報化施策への取り組みを充実していただきたいです。格差が大きくなる現在の社会情勢ですので、どの子供にも平等にパソコンなどを使える環境を早急に作り上げていただきたいです。この事が遅れると鹿児島市の行政にとっても大きな損失と考えます。	女	40 歳代
私の年齢でPCしている方は少ないです。この情報化施策が私たちの年齢でも分かる言葉で伝わるよう努力していただければうれしいです。また子どもたちは姿勢について興味を持たずに生活しています。高齢者にも若者にも身近な市制をお願いします。	女	40 歳代
我々高齢者にとっては今更新しい機器をとり得れたり勉強したりすることは無理なことです。	女	40 歳代

私が初めてパソコンを使ったのは、職場でした。それまではオフコンを使っていました。しかし、私の両親はパソコンや携帯電話をよく知りません。使いたいけど壊したらどうしようとか、必要性がないとか、色々理由があるようですが、パソコンや携帯電話自体をよく知らないようです。何度も教えますが、すぐ？顔になります。年配者にわかりやすいしてくれるとありがたいですね！	女	30 歳代
--	---	-------

【情報化に対する不安・不満】

	性別	年齢
利用しやすい、わかりやすい工夫をして下さい。	男	50 歳代
利用できる人とできない人に格差がでないようにしてほしい。	女	40 歳代
若い人だけが利用するものではないので、情報化が進みすぎても年寄りについてはいけないのでは？	女	30 歳代
「情報化」と「ふれあい」は別。役所の人は各公民館といった場所で地区の人と生で話をしたりすれば「税金の無駄」な調査票を年に何度もしなくて良い。	女	30 歳代
TVやラジオで入る情報でインターネットで世界に配信して悪いことをしている人間にははらわたが煮えくりかえります。こんなのはなくなった方が良いです。私は古いカモかもしれませんが、昭和の時代に戻るべきだと思います。私の意見です。以上	女	60 歳代
インターネットやコンビニなどで、行政の窓口業務代行を行うべきではない(防犯に)	男	50 歳代
鹿児島市が情報化施策についてどんな取組みをしているのか全く伝わってこない。	女	50 歳代
市が情報化を進める事は良い事だと思うが、担当部署以外の職員も内容を把握し、高齢者などのサポート が出来る様体制を整えて欲しい	男	60 歳代
市内の小学校にテレビやパソコンが配置されているが、ある教室やない教室があるようだ。導入後、学校側に丸投げではないか。学力や生活力の向上に役だっているのか？疑問です。	男	70 歳代
市の情報は、新聞・市民の広報誌等の紙面上、そしてテレビ・ラジオでも十分に得られているし、内容も詳細ですから、情報に関しては不自由していません。これからも市民のひろばで入手します。今のままで充分です。	男	60 歳代
市の情報は「市民のひろば」や議会だよりで十分足りてますフリーペーパーのように読みやすくしてほしい。	女	40 歳代
市の情報は様々な手段で知らせてもらっていると思います。でも、それらの情報を市民として活用していないと今回のアンケートで思いました。仕事をしているので【問い合わせたい】と思ってももう時間外ということもあるので、情報を得た人が更に情報をえるための手段をインターネット等以外で作ってほしい。また、出した情報に対して市民がどのような意見を持っているかということに関心を持ってほしい。多くの人が意見を持っていても身近に伝える手段を持っていなかったり、意見を言うことを忘れてるので！！	女	60 歳代
市民の意識調査としては形式的に軽いのでは。税金を使う調査なのかと思う。	男	70 歳代

市民の利用がしづらい情報化施策はしない方が良い。無理にお金をかける必要はない。	男	50 歳代
常に正確で迅速な情報提供をお願いしたいと思います。	女	60 歳代
電子書籍の学校教育への導入については疑問を感じる。学校には大型テレビが配置されているが、そこまで必要性は感じられないと思う。	女	50 歳代
みなさんパソコンで調べて各施設に電話などで問い合わせをしていると思うが、私の経営している美容室に多い時は日に 5 件も間違い電話がかかってくる。仕事に支障がでる。間違えないようゴロ合わせも記載するとか対策をとっていただきたい。(ふれあいスポーツランド 275-7107 当店 257-7107)	女	70 歳代
私は造園の仕事に従事しています。S53 年に東京より帰鹿し現在になります。44 年この仕事をし、手書きで図面(庭)を書いていた。今はパソコンで…。30 年以上帰鹿して、この緑に対する市民の意識の薄さには、ほとんどあきれ返ります。家を大きく作り、庭などありません。庭造りはほとんどなく庭師(植木屋ではなく)剪定屋と名を変えざるをえません。パソコンがあれば色々な情報が分かっているなあとは思いますが…。	女	60 歳代

【インターネットによる情報発信の充実】

	性別	年齢
ゲリラ豪雨や多雨のとき、甲突川の〇〇橋、××橋付近の水位等を HP でリアルタイムに見られるようにしてほしい。	男	70 歳代
子育て中の者ですが、現代は地域のつながりが少ない社会です。【幼稚園探し】でも、ブロードバンドのロコミを活用しました。どういう所か？とか知りたくても聞ける人がいないんです。マンション生活は特に。りぼん館などにパソコンを数台おくと、かなり子育て生活している人とか助かると思います。パソコンはまだ「ぜいたく品」とみなされ、家計から削りがちなので、よくパソコンほしいけれどって声をききます。	女	30 歳代
国会答弁はすぐテレビで見れるが、市議会の答弁は見れない。 市議の公開の内容をホームページから見たい。	男	20 歳代
市民に新しい情報等を、親しまれる情報を発信してください。	女	30 歳代
都市と違い、家族で出かけて楽しい場所が少ない場所なのでもっといろいろなイベント等の情報配信をして頂きたい		
年令的に申し上げると介護サービス、医療関係、納税についての詳しい解説と対応の仕方など、年金に関する情報も欲しいです。	男	40 歳代
不審者情報とか事件があった事など子供の安全に関わる情報は早く欲しいので、警察などと連携してメールなど送ってほしい。	女	30 歳代
保健所や捨てられた犬や猫達の飼い主が一匹でも見つかるように犬や猫達の写真を掲載出来たらと思います。動物好きの私としては熊本の保健所を見習って欲しいと思います。	女	50 歳代
窓口に行かなくても、身近に住民票等が入手できれば…	男	60 歳代

【セキュリティ対策の充実】

	性別	年齢
セキュリティーには万全を期してほしい。情報が悪用されないようにしてほしい。 (本人確認など)	男	30 歳代
・企業での情報の漏洩がニュースに出たりしますが、市がそうになってしまうと大変な損害および信用を失ってしまうので十分に対策を取って欲しい。 ・番号制度については反対です。個人情報保護、人権上あまり良い考えとは思いません。業務上での処理の改善を先に考えるべきだと思います。	男	30 歳代
違法な情報や有害情報の流通、情報漏えいなどに対応する、安心して安全な情報環境の構築を進めていただきたい。	男	60 歳代
個人情報保護に努めていただきたいです。	女	30 歳代
情報技術の向上は望ましいが、情報化によるサービス向上には賛美両論あるかと思う。ネットワーク犯罪や市のデータもパソコンに管理されていることも多い中、ウィルス侵入によるデータ流出などどこまで防げるかが問題になると思う。データ流出ともなると、信用性、情報化の在り方、様々な問題が山積みとなってくる。市がどこまで対応できるか、考えてしまう。	女	50 歳代
何度も記述します。 郵便局の配達員が投函を間違ったのが一番悪いですが、開封して(他人(マンション内のどこかの家庭)が開封)他人が返還されてました。明らかに固定資産内容は知られてしまいました。個人情報の洩れそのものだと思います。上記問12の2が良策!	女	40 歳代
パソコンの導入により仕事の効率も上がるし、情報の収集・発信事務処理など市民の役に立つことなのでとても良いと思う。しかし個人情報ともれた場合の怖さや情報を受け取る側の不便さもある。それは各家庭にパソコンがあるわけでもないし、あっても上手く利用出来ない人もいる。国の政策でも層であるが低所得者(生活保護や補助を受けられないギリギリの人)にとっては何かしら経済的負担が大変である。高速道路のETC之車載器や地デジ化によるテレビの購入などがそうである。パソコンの購入もまだまだ高いし買ったとしても通信費など負担が大きい。新たな鹿児島市の情報化施策が市民の負担無く便利になるのであればとても良いことだと思います。	男	70 歳代
平日なかなか休みがとれないので申請届出や証明書がコンビニにでもできる様になると助かります。ただ個人情報の保護にはしっかり努めていただき安心して活用できるものにしてほしいです。	男	60 歳代
問題が発生しない用にしっかり対策して欲しいです。	女	30 歳代

【情報通信技術を活用した市民サービスの充実】

	性別	年齢
環境と市づくりのために、地域毎の大気汚染の変化状況とその解析等の数値情報を日常的に発信する等、市民生活の向上にむけての具体的活用法を図っていくことが肝要であると考えます。	男	60 歳代
行政手続きがインターネットから誰でもわかりやすい形で手続きができればよい。	女	30 歳代
3月11日の震災後、ボランティアや物品提供に関する情報がすくなかった。(市役所、ボランティアセンター共に) 障害のあるこの就学に関する情報がない。不登校(児)支援に関する情報は、適応指導教室及び、訪問指導案内までいねいにあるが。障害のある子は、どういう教育をうけられるの。どの学校にどういう特別支援学級があるの？どこに相談すればいいの(就学時、転入時)情報がえられません。	女	40 歳代
安価で皆が参画しやすい情報化施策を希望します。	女	70 歳代
アンケートの結果を確実に反映させ、しっかり市財政を見守って、市民に不満を感じさせぬようよりよい市政に頑張りなさい。市役所の駐車場等行っても不快なことが多い。	女	40 歳代
一方通行・自己満足のみで終わらず、更に地域・企業情報を多く取り込み配信願いたい。	男	50 歳代
今、どこでどんな災害が起こるか分からない環境になっていて、鹿児島でも東日本大震災のような想像もしない災害にみまわれるかもしれない…と考えたりします。いろんな事を想定して、もしそうなったとき、私達市民にいち早く情報が届き、どうしたら良いかが誰もが分かる様なシステムが出来れば良いと思います。	女	40 歳代
介護、福祉に関する情報や保険、年金等の情報は自動発信にてメールで見れるようにしてほしい！	女	50 歳代
行政にたずさわる人、住人(市民)とのふれあいがある情報化であってほしい。	男	50 歳代
行政窓口以外で証明書などが入手出来るようになれば、交通の便が悪かったり、忙しかったりしてもとても便利だと思います。	女	20 歳代
現在、職場以外でパソコンを使用しないので携帯電話での情報収集しか出来ません。携帯のホームページの充実を希望します。	女	50 歳代
個人にID番号を振ればその番号で全ての情報を出せるので事務処理が簡素化するのでは？IDカードみたくのを作成しなければならないが・・・	女	20 歳代
最近市役所で申請(住民票)を行う機械がありましたが、すごく時間がかかります。情報化を図ることで、申請等を簡素化・効率化もしていただけると助かります。	女	50 歳代
市のホームページが使いにくい。検索のし易い画面に改善するべきである。市民が必要としている情報を簡単に入手できるような工夫が必要。	男	30 歳代
市のホームページをもっと市民が活用したくなるような工夫が欲しい。	男	70 歳代
市民生活の向上、行政の効率化の為に毎年度改善されていくことを期待しています。	男	50 歳代

市役所・支所以外で証明書発行が出来る場所で無料で、パソコン閲覧ができるのですか？料金等が気になると、検索もするかどうかわかって、結果、面倒になり、何も見ないような気がします。 「市民のひろば」も見るのに目が疲れやすいと、なかなか開かないです。(字が小さくて)	女	60 歳代
情報化施策をすることで、人件費やムダが省けるようにすすめて	女	60 歳代
全ての分野を見たわけではありませんが、生活に関連した必要な情報が揃えられていることに感謝しています。こうした情報が揃えられる事を、これまで以上に活用できるよう期待しています。	男	50 歳代
税金の口座引き落としの申し込みをパソコンから簡単に登録できると良いと思う。インターネットバンキングのように、月々いくら引き落とされるのか等を出先でもチェックできると利用者も払い忘れが減ると思う。支払い期日近くになると、メールなどで支払い日と金額を知らせてもらえるとより助かる。	女	30 歳代
政府は6月、社会保障と税の一体化に併せ、「社会保障・税番号大綱」をまとめた。わが国には国や地方自治体(都道府県・市町村)民間機関が所管する数多くの個人に関する各種番号がある。しかし複数の機関が個人の情報を同一人物であるとして確認できないために国民にとって様々な不便や非効率が生じている。基礎年金番号制が導入される以前から年金番号はあったが年金以外につかわれることはないのでは？番号を年金だけでなく健康保険や納税、住民票の管理につかったならば情報確認に大いに役立つと思う。統一的な個人番号導入に力を注いでほしい。「プライバシー保護」だけでなく個人情報を真に必要なときに限って活用できるようにすることを望みます。	女	70 歳代
図書館に自由に使えるパソコン(インターネット)が導入されたら便利だと思います。県外図書館では自由に使えるパソコンがあり一日2時間まで無料で楽しめるサービスがありました。	女	30 歳代
図書館をよく利用しますが本の在庫確認がネットで可能だと良いです。どの公民館にあるのか、貸し出し可能か、知ることが出来ればありがたいと思います。各市営施設がイベント書き込み担当するページがあってもいいと思います。雇用対策はハローワークが中心かと思いますが、市内に関してだけの就職セミナー等の情報公開があると良いと思います。	女	60 歳代

【コスト問題】

	性別	年齢
環境・省エネ化を進めるにあたり助成金の増額を望む。	男	30 歳代
このアンケート自体が経費のムダにならないように	男	30 歳代

【その他】

	性別	年齢
年々市役所の対応よくなり、電話すると親切に教えてくれますので特に不自由は感じてません。	男	70 歳代

(その他)個人の借りビルに住んでいるが家賃が高すぎる。(交通の便は良い)	女	70 歳代
《その他》アリーナを利用している者ですが、駐車料金300円を支払いして又体育館の使用料を支払う現状である。県民交流センターは券は印鑑を押してもらえば無料になる。市の方も使用料を払う者は100円の駐車料もしくは無料とか検討頂きたい。住民税もかなり支払っていますのでよろしく！	女	60 歳代
「市民のひろば」をととても楽しみにしております。	女	60 歳代
あまり関心がなくてすみません。	男	60 歳代
いろいろ意見があつて大変かと思ひますが頑張ってください、よろしくお願ひします。	女	40 歳代
鹿児島市となつてから田舎の良い所が少なくなつてきている。なかなか近所でも出会う事が少ない。	女	60 歳代
鹿児島市内でも市バスが通らなくて他社のバスを利用するため料金がかかる。鹿児島市も広がつたため休日在宅医が遠くてこまることがある。市電は乗換券がもらえるが市バスも乗り換え券があつたら助かります。	女	40 歳代
鹿児島市の高い住民税を納入しています。自宅付近は区画整理の行われる様子もありません。ゴミは錯乱しています。夜は暴走族のたまり場です。大変悲しい税金の使われ方がされていませんか？例えば「箱物」多すぎ！！	男	50 歳代
鹿児島という地域の特性としていつも思うが、保守的考えが強い為、革新的考えが生まれにくい体質があり、いつも他県・他市の考えを参考にする二番煎じの考えで特に代わり映えがしない、そういう体質を打破して、もう少し建設的で時代の先端を走る様な考えを取り込んで欲しいものです。	男	50 歳代
鹿児島を盛り上げて全国一の県にしてください。	男	20 歳代
現状で満足している。	男	70 歳代
今年で80歳になるのですが年金の掛金が足りなくて年金をもらっていません。老齢年金を少しでももらえるように出来ないのですか。市長、お願いします。	男	70 歳代
子どもの医療費を中学生まで無料にしてほしい。	女	20 歳代
この頃生活も大変ですが、中高学年のマナーとか常識を教えてもらいたい。幼、小学生にとつても悪い影響をあたえている様子をよくみます。親達は仕事も大事ですが、お金を他人にあたえ、子供を見てもらい、そこになんとすごく疑問を抱くようになってきている今日今頃です。 小学生になるまでは、愛情を持って常識を教えてもらいたい。 近辺には大学生が住んでいますが本当頭はすぐれていると思ひますが、私から見ると、その態度ちょっと私には悲しくなりますね。	男	70 歳代
この同一内容で市議員のみなさんへもアンケートをとつて参考にしたらいかがですか。議論を深めていくと議員さん方の意識等が重要と思ひれます。	男	40 歳代

今回のアンケート実施に意味があると思います。高齢化が進む鹿児島で、また日本経済政治の流れの中、地域の地元の行政の方向に関心があります。鹿児島独自に進められること、自給率の対策を進めて欲しいと思う。★第一産業(農畜水)の割合が高い鹿児島は東北、関東の生産地のバックアップとしての供給も考えて、休耕田はもったいないと思う。高齢化が進み、過疎化が進む中、村として相続できない地域もある。反して、都市圏では仕事がなく、生活の糧を悩む若者もいる。過疎化が進む農村・漁村の地域で都会の若い家族を受け入れ、地域の活性化をすすめてほしい！※具体的には地方の空いている家を市町村が買い上げ、都会からの若い家族を対象に提供し、農業・漁業の仕事を教えながら地域社会でバックアップする仕組みが考えられないか！	女	20 歳代
市電の運転手の態度が悪いので何とかしてください。市電を乗るために走っている人がいるのに無視して運行。ミラーで確認をしてないとかいえます。後耳さわりの偉そうな言い方の運転手。一部の運転手のせいで市電の運転手が一番公務員の中で怠慢していると思えません。後、全公務員の給料を開示してください。税金の使われ方を明確にしてください。住民税が高すぎる。国保税が高すぎ。鹿児島は生活しづらいです。	男	50 歳代
市役所は待ち時間、駐車場のことを思うとなかなか足が向かない場所です。(車移動が主ですので)簡単な書類ならもうすこし手軽に扱えるようにするととても良いと思います。ネットがこれからは大切になると思うのでわかりやすく親しみやすい鹿児島のネットサービスができるとうれしいです。	女	40 歳代
住宅情報 年金生活者には家賃が高く生活が大変です。仮設住宅のようなのも家賃が安いといいと思います。市営の住宅を増やしてほしいです。	女	70 歳代
住民票など申請届出、証明書の入手方法をもっと簡潔にしてほしい。	女	30 歳代
上記1. 2. 3. 4の推進をお願いします。 各戸パソコンの配給と使用に伴う教育があれば、よりスムーズにできるのではないかと思います。	女	70 歳代
情報化について是まで特に意識していなかったが、子の調査を機会に更に改善充実へ努め、意見・要望が正しくできるように頑張りたい。	女	20 歳代
税金は大切に使って下さい	男	10 歳代
税などの納付金の支払いをクレジットカード対応にして欲しい。(コンビニ等で)銀行、郵便局になかなか行けない場合もあります。	男	60 歳代
全部無記入！	女	70 歳代
相談したい事、どこに行けばいいのか案内を詳しくしてほしい。	男	20 歳代
町内会の回覧はマンネリだし、見るべき物が少なくもったいない上、面倒です。	男	70 歳代
時々考えさせられる事が多くありました。こどもたちの未来が明るい未来であるように願う事でした。お疲れ様です。	女	60 歳代
都市計画、道路整備予定状況について知りたい	女	60 歳代
特記事項なし	女	30 歳代
とても難しいアンケートでした。私は、アンケートは全部勘でいく方です。	女	20 歳代
とにかく現代のスピード時代についていけません。	女	70 歳代

年金は下がるばかり少ない年金で生活していくのは大変です。高齢者でも住める市営住宅でもあればいいのですが、なかなか当たらず少ない年金で家賃をはらっていくのはとても大変、何の楽しみもありません。	男	60 歳代
パソコンなど置いていない。	女	50 歳代
パソコンなど持っていません。しかし日常頻繁に用語解説欄を見たり聞いたりします。おかげでよく理解できました。ノートに移して勉強することにしました。	女	60 歳代
一人暮らしで糖尿病ですので、カロリーの低い料理をしてくださる所があれば紹介してください。すみません。	女	30 歳代
不満なく過ごしています。	女	70 歳代
本人に知的障害があるため、回答不可。	女	70 歳代
本人は施設入居者であり、認知症あるため本人の意のままであれば「わからない」と全てなる。市への希望としては、たて割でなく、住民票を変更したら(住所変更)その窓口で、全ての変更出来るとありがたい。窓口をまわらなければならない。又、何の変更(手続き)が必要なのか教えて欲しい。知らずに利用できないサービスも多々ある。	男	30 歳代
毎日お疲れ様でございます。酷しい暑さの中、節電で大変でしょう。お元気でこの夏を乗り切りましょう。	女	60 歳代
誠にご無理とは存じ上げておりますけれどもバス停にどうしても椅子が必要です。役所(市)の管轄でしょうか。でしたら、何卒宜しく願い申しあげます。固定椅子が大丈夫かと思えます。勝手なことを書面でご免くださいませ。失礼致します。	男	40 歳代
問 10 と同じで全て必要と思うが私個人としては年令的に活用はしない。	女	40 歳代
番号制度の導入により脱税防止や業務の効率化を進めることが必要。ただしパソコンなどを利用できない人が置き去りになることが心配。	男	70 歳代

Ⅲ. 資料 アンケート調査票



鹿児島市の情報化に関する市民意識調査

■この調査について

この調査は、新たに取り組む情報化施策に市民の皆さんのご意見を十分に反映させるために実施するものです。

この調査をお願いする方は、18歳以上80歳未満の市民の皆さんから無作為に選ばせていただきました。

アンケート用紙は無記名で、調査結果は統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。お忙しいこととは存じますが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご回答くださいますようお願いいたします。

■ご記入に当たってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人による記入が難しい時には、周りの方が代わりにご記入下さい。
2. ご回答は、それぞれの質問に関してあらかじめ用意された項目（選択肢）の中から、当てはまる番号に○印をつけてください。また（ ）内にはできるだけ具体的にご記入ください。
3. 本アンケート中に使われている用語については、表紙の裏に用語説明を記載しておりますのでご利用下さい。
4. このアンケート用紙及び返信用封筒には住所・氏名を記入していただく必要はありません。また、切手を貼っていただく必要もありません。
5. ご回答いただいたアンケート用紙は、記入もれがないかご確認のうえ、同封してある返信用封筒に入れ、平成23年8月17日(水)までにご投函くださいますようお願いいたします。

※パソコンからご回答いただくこともできます。

パソコン用URL <http://bit.ly/pVpzwX>

※このアンケートで知り得た情報の秘密は厳守します。なお、統計的な処理が終わりましたら、アンケート用紙は破棄させていただきます。

■お問合せ先

鹿児島市情報システム課 IT推進係

住 所：〒892-8790 鹿児島市山下町11番1号

電 話：099-216-1115（直通）

FAX：099-216-1117

E-mail：jousys06@city.kagoshima.lg.jp

【用語説明】

用語	説明
タブレット型端末	iPad（アイパッド）など、平板状の外形を備えタッチパネル式などの表示／入力部を持った携帯端末。
スマートフォン	iPhone（アイフォン）やGalaxy（ギャラクシー）など、携帯電話機能と本格的なネットワーク機能を始めとするパソコンと類似の機能を持つ多機能携帯端末。

I S D N回線	N T Tが提供する総合デジタル通信サービス。データ転送速度は64Kbps。 （※bpsは通信回線などのデータ転送速度の単位。）
D S L回線（A D S L）	既存の電話回線を利用する高速インターネット接続サービス。 データ転送速度は最大数Mbps～数十Mbps程度。
光回線	光ファイバケーブルを利用した超高速インターネット接続サービス。データ転送速度は最大100Mbps～1Gbps程度。

チャット	インターネットを利用して、リアルタイムで文字をタイプし、会話をすること。
電子掲示板	インターネット上に開設された掲示板。様々な利用者によって情報の書込みや閲覧をすることが可能。BBSとも言う。
地域ポータルサイト	インターネットを通じて地域のイベント情報や生活情報などを、官民を問わず一元的に提供するサイト。
S N S （エスエヌエス）	ソーシャル ネットワーキング サービスの略。人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のサービス。代表的なものにmixiやGREE、Face bookなどがある。
ブログ	ウェブログの略。ホームページよりも簡単に個人のページを作成し、公開できる。個人的な日記や個人のニュースサイトなどが作成・公開されている。
T w i t t e r （ツイッター）	「ツイート(tweet)」と呼ばれる短文を投稿したり、閲覧できるコミュニケーション・サービス。
メールマガジン	メールアドレスを登録した読者に向けて電子メールで情報を配信する。

オンラインゲーム	ネットワークを介して複数の人が同時に参加・利用できるコンピュータゲーム。
ダウンロード	ネットワーク上の他のコンピュータにあるデータ等を、自分のコンピュータへ転送し、自分のコンピュータに保存すること。
電子マネー	インターネット上の電子商取引等で利用される、貨幣価値を電子化したものの総称。
ネットオークション	インターネット上で物品の売買をオークション形式で行うサービス。
ネットバンキング	インターネット上に開設されたサイトを利用して、振込・残高照会等、各種銀行手続を行うこと。
ネットトレード	インターネットを利用して株式等の取引をすること。オンライントレードとも言う。
テレワーク	情報通信機器を利用して、自宅などで仕事を行う勤務形態。
番号制度	国が国民生活を支える社会的基盤として導入を検討している、社会保障・税に関わる番号制度のこと。

☆はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

それぞれの項目について、当てはまる番号1つに○印をつけてください。なお、それぞれの項目は統計処理する際に必要な項目ですので、すべての項目について記入もれがないよう、お願いいたします。

■性別

1. 男

2. 女

■年齢（平成23年4月1日現在）

1. 18歳～19歳

4. 40歳～49歳

7. 70歳～79歳

2. 20歳～29歳

5. 50歳～59歳

3. 30歳～39歳

6. 60歳～69歳

■職業（兼業の場合は収入の多い方に○印をつけてください。）

1. 農林水産業

5. 会社役員

9. 無職

2. 自営業（農林水産業以外）

6. パート、アルバイト

10. その他（ ）

3. 自由業（芸術家、弁護士など）

7. 学生

4. 会社員、公務員

8. 家事従事者（専業主婦など）

■居住地（2ページの「地域区分と所属町丁目の対照表」を参照してください。）

1. 中央地域

6. 谷山北部地域

11. 吉田地域

2. 上町地域

7. 谷山地域

12. 喜入地域

3. 鴨池地域

8. 伊敷地域

13. 松元地域

4. 城西地域

9. 吉野地域

14. 郡山地域

5. 武・田上地域

10. 桜島地域

※不明な場合は、お住まいの町名をお書きください。（例：山下町）

（ ）

【 地域区分と所属町丁目の対照表 】

番号	地域区分	所属町丁目
1	中央地域	名山、平之、東千石、西千石、中、金生、照国、泉、住吉、堀江、大黒、呉服、新、船津、城南、松原、南林寺、甲突、錦江、新屋敷、樋之口、山之口、千日、加治屋、中央、上之園、上荒田
2	上町地域	坂元、西坂元、東坂元1～4丁目、清水、祇園之州、鼓川、池之上、稻荷、春日、柳、浜、上竜尾、下竜尾、冷水、長田、大竜、上本、小川、本港新、易居、山下、城山、玉里団地1～3丁目、若葉、吉野の一部（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松）
3	鴨池地域	高麗、荒田1～2丁目、与次郎1～2丁目、下荒田1～4丁目、天保山、鴨池新、鴨池1～2丁目、唐湊3～4丁目、郡元、郡元1～3丁目、南郡元、東郡元、真砂、真砂本、三和、南新、日之出、紫原1～6丁目、西紫原、宇宿、桜ヶ丘7～8丁目、宇宿1～9丁目、中央港新、新栄、向陽2丁目
4	城西地域	城山1～2丁目、新照院、草牟田、草牟田1～2丁目、玉里、永吉1～3丁目、明和1～5丁目、原良、原良1～3丁目、薬師1～2丁目、城西1～3丁目、鷹師1～2丁目、常磐、常磐1～2丁目、西田1～3丁目
5	武・田上地域	武1～3丁目、唐湊1～2丁目、紫原7丁目、向陽1丁目、広木1～2丁目、田上、田上1～8丁目、田上台1～4丁目、西別府、武岡1～6丁目、西陵1～8丁目、小野の一部（西ノ谷）
6	谷山北部地域	五ヶ別府、星ヶ峯1～6丁目、皇徳寺台1～5丁目、山田、中山、中山1～2丁目、自由ヶ丘1～2丁目、桜ヶ丘1～6丁目、小原、魚見、東谷山1～7丁目、清和1～2丁目、希望ヶ丘、小松原1～2丁目、東開
7	谷山地域	上福元、谷山中央1～7丁目、下福元、慈眼寺、谷山塩屋、和田、和田1～2丁目、平川、卸本、南栄1～6丁目、七ツ島1～2丁目、谷山港1～3丁目、錦江台1～3丁目、坂之上1～8丁目、光山1～2丁目
8	伊敷地域	伊敷、伊敷1～8丁目、伊敷台1～7丁目、西伊敷1～7丁目、千年1～2丁目、花野光ヶ丘1～2丁目、下伊敷、下伊敷1～3丁目、小野（西ノ谷を除く）、小野1～4丁目、犬迫、小山田、皆与志
9	吉野地域	岡之原、緑ヶ丘、川上、下田、吉野（磯、花倉、三船、竜ヶ水及び平松を除く）、大明ヶ丘1～3丁目
10	桜島地域	桜島赤水、桜島赤生原、桜島小池、桜島西道、桜島白浜、桜島武、桜島藤野、桜島二俣、桜島松浦、桜島横山、新島町、野尻、持木、東桜島、古里、有村、黒神、高免
11	吉田地域	西佐多、東佐多、本城、本名、宮之浦、牟礼岡1～3丁目
12	喜入地域	喜入瀬々串、喜入中名、喜入生見、喜入前之浜、喜入、喜入一倉
13	松元地域	石谷、入佐、上谷口、直木、春山、福山、松陽台、四元、平田
14	郡山地域	花尾、有屋田、川田、郡山、郡山岳、西俣、東俣、油須木

< 1 > あなたの世帯での情報通信機器の保有状況、利用状況についておたずねします。

問1. あなたの世帯ではご家族のどなたかが過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 利用したことがある

2. 利用したことがない

* パソコンからの利用のほか、携帯電話、PHS、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

* 個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

* 図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用を含みます。

問2. (1) あなたの世帯では、次の情報通信機器を保有していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。(ご家族のうち、どなたかが保有しているものも含めます。)

1. 自宅のパソコン（2のタブレット型端末は除く）
2. iPadなどのタブレット型端末
3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く）
4. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話
5. PHS
6. カー・ナビゲーション・システム
7. ファクシミリ（FAX）
8. ケーブルテレビ
9. インターネットに接続できるテレビ
10. インターネット対応型家庭用ゲーム機
11. 地上デジタルテレビ（地デジチューナー内蔵のレコーダー等と接続されているテレビも含む）
12. その他

(2) (1) で「1. 自宅のパソコン」を選んだ方におたずねします。

「自宅」で「パソコン」を使ってインターネットに接続している場合、どのような回線で接続していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 電話回線（ダイヤルアップ） | 6. 光回線 |
| 2. ISDN回線 | 7. DSL回線（ADSLなど） |
| 3. 携帯電話回線 | 8. わからない |
| 4. PHS回線 | 9. その他（ ） |
| 5. ケーブルテレビ回線（CATV回線） | |

* 「3. 携帯電話回線」、「4. PHS回線」はパソコンに接続して使う場合であり、それぞれの端末のみでインターネットを利用する場合は含みません。

「6. 光回線」を選択しなかった場合は（3）にもご回答ください

(3) (2)で「6. 光回線」を選択しなかった方におたずねします。

光回線を導入しない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 通信料が高い | 5. 自宅であまりインターネットを利用していない |
| 2. 回線工事に手間が掛かる | 6. 現在の回線でも不自由を感じない |
| 3. 居住地域において光回線が提供されていない | 7. 手続きが分からない |
| 4. 住宅環境により光回線を導入できない | 8. その他 () |

< 2 > あなたのご自身の情報通信機器の利用状況についておたずねします。

問3. 過去1年間にインターネット（パソコンや携帯電話等からのメールの送受信、ホームページの閲覧など）を利用したことがありますか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 利用したことがある → <u>問4へ</u> | 2. 利用したことがない → <u>問4の(5)へ</u> |
|---------------------------|-------------------------------|

*パソコンからの利用のほか、携帯電話、PHS、ゲーム機等あらゆる機器からの利用を含みます。

*個人的な利用だけではなく、仕事上での利用等あらゆる場合を含みます。利用場所については、自宅、外出先等あらゆる場所が該当します。

*図書館・インターネットカフェ等にあるご家庭保有以外の機器からの利用を含みます。

問4. 問3で「1. 利用したことがある」を選んだ方におたずねします。

(1) 過去1年間に、どのような機器でインターネットを利用しましたか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------------------|----------------------|
| 1. パソコン（自宅以外のもも含むが、2のタブレット型端末は除く） | |
| 2. iPadなどのタブレット型端末 | |
| 3. 携帯電話（4のスマートフォンは除く） | |
| 4. iPhoneなどのスマートフォン型の携帯電話 | 7. インターネットに接続できるテレビ |
| 5. PHS | 8. インターネット対応型家庭用ゲーム機 |
| 6. ケーブルテレビ | 9. その他 |

(2) 利用した場所に関係なく、インターネットをどれくらいの頻度で利用しましたか。

利用したことのある情報通信機器ごとに、当てはまる番号1つに○印をつけてください。

利用頻度	パソコン	タブレット型端末	携帯電話	その他
毎日1回以上	1	1	1	1
週に1回以上	2	2	2	2
月に1回以上	3	3	3	3
それ以下	4	4	4	4

*「携帯電話」にはスマートフォンやPHSで利用した場合も含みます。

(3) 主にインターネットを利用する場所はどこですか。利用したことのある情報通信機器ごとに、下の1～10の中から当てはまる番号すべてを記入してください。

「10.その他」を選択した場合は、下欄の（ ）内にその場所をご記入ください。

パソコン	タブレット型端末	携帯電話	その他
()	()	()	()
1. 自宅 2. 学校 3. 職場 4. 公共施設	5. 空港・駅 6. 移動中の交通機関内 7. 飲食店（8以外） 8. インターネットカフェ	9. ホテル等の宿泊施設 10. その他（)	

*「携帯電話」にはスマートフォンやPHSで利用した場合も含まれます。

(4) どのようなインターネットのサービスを利用していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 個人のホームページ（ウェブ）・ブログの閲覧	
2. 企業・政府等のホームページ（ウェブ）・ブログの閲覧	
3. 電子メールの受発信（メールマガジンは除く）	
4. 電子掲示板・チャットの利用	
5. 動画投稿サイトの閲覧・投稿	
6. Twitterの閲覧・投稿	
7. メールマガジンの受信	
8. SNS（mixi GREE Facebookなど）の利用	
9. ホームページ（ブログは除く）の開設・更新	
10. ブログの開設・更新	
11. 電子ファイルの交換・ダウンロード	
12. インターネットオークション	
13. 電子政府・電子自治体の利用（電子申請、電子申告、電子届出）	
14. 商品・サービスの購入・取引（15と16は除く）	
15. デジタルコンテンツ（音楽、映像、ゲームソフト、電子書籍等）の入手・聴取	
16. 金融取引（ネットバンキング・ネットトレード等）	
17. クイズ・懸賞応募	18. アンケート回答
19. オンラインゲームへの参加	20. 通信教育の受講
21. 在宅勤務（テレワークなど）	22. 就職・転職関係（求人情報、採用応募等）
23. 地図情報提供サービス（乗換、ルート検索等も含む）	
24. その他（)	

(5) 問3で「2. 利用したことがない」を選んだ方におたずねします。

今後インターネットを利用したいと思いませんか。次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

1. 今後利用したいと思う
2. 今後も利用したいと思わない
3. わからない

問5. すべての方におたずねします。インターネットを利用して感じる不安や不満、または利用していない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 特に不満は感じていない | 9. 接続速度が遅い |
| 2. 個人情報の保護に不安がある | 10. 認証技術の信頼性に不安がある |
| 3. ウィルスの感染が心配である | 11. 情報検索に手間がかかる |
| 4. 電子的決済手段の信頼性に不安がある | 12. 必要な情報がない |
| 5. 違法・有害情報が氾濫している | 13. 利用する必要がない |
| 6. 通信料金が低い | 14. わからない |
| 7. パソコンなどの機器が高価すぎる | 15. その他 () |
| 8. パソコンなどの機器の操作が難しい | |

< 3 > 鹿児島市からの行政情報の発信についておたずねします。

問6. あなたは、鹿児島市が発信する行政情報を、現在、どのような方法で入手していますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. 市が発行する広報紙（市民のひろばなど）
2. 市のホームページ（パソコン版）
3. 市のホームページ（携帯電話版）
4. 市の機関が発信しているTwitterやメールマガジン
5. 市民便利帳
6. 市役所、公共施設に電話などでの問合せ
7. テレビ
8. ラジオ
9. 新聞、タウン情報誌、フリーペーパーなど
10. 家族、知人からの口コミ
11. 町内会の回覧
12. 特に情報を得ていない
13. その他 ()

(2) (1) のパソコン版で「1. ある」を選んだ方におたずねします。

ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(3) (2) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。

満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 最新の情報が
ない | 5. 表示が遅い
(時間帯) |
| 2. 必要な情報が
ない | 6. みづらい |
| 3. 興味のある情報が
ない | 7. その他 () |
| 4. 情報がどこにあるか
分からない | |

(4) (1) の「携帯電話版」で「3. ある」を選んだ方におたずねします。

ホームページの満足度について、次の中から当てはまる番号1つに○印をつけてください。

- | | | | | |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

(5) (4) で「4. やや不満」、「5. 不満」を選んだ方におたずねします。

満足できない理由は何ですか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 最新の情報が
ない | 5. 表示が遅い |
| 2. 必要な情報が
ない | 6. みづらい |
| 3. 興味のある情報が
ない | 7. その他 () |
| 4. 情報がどこにあるか
分からない | |

問9. 鹿児島市のホームページについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。

--

< 4 > 鹿児島市が行う情報化への取組についておたずねします。

問10. 鹿児島市では情報化による市民サービスの向上や地域の活性化を目指しています。あなたは、どのような施策に情報通信技術を活用するべきだと思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. 地域コミュニティ活動支援（市民参画への活用）
2. 情報公開の推進
3. インターネットによる申請届出やコンビニでの証明書交付の導入など
4. 電子マネー・クレジットカードなどによる税、使用料、手数料等の支払い
5. メールマガジンの発行
6. 環境対策
7. 観光の活性化（観光関連ホームページの充実など）
8. 経済の活性化（中小企業への情報化支援など）
9. 国際交流の推進（外国語版ホームページの充実や外国語対応など）
10. 子育てに関する情報提供や支援の充実
11. 高齢者や障がい者福祉の充実（介護サービスを含む）
12. 健康・医療サービスの充実
13. 危機管理・防災の充実
14. 教育の情報化（情報通信技術を活用した授業の実施など）
15. 生涯学習の充実（パソコン講座の充実など）
16. 交通環境の充実
17. 特にない
18. わからない
19. その他（)

問11. あなたは、情報化が進むことに対して、どのような不満や不安を感じることがありますか。次の中から当てはまる番号すべてに○印をつけてください。

1. パソコンなどを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる
2. 個人情報が増えプライバシーが侵される
3. ネットワーク犯罪が増加する
4. 子どもが教育上好ましくない情報に接する
5. 人と人とのふれあいが少なくなる
6. 情報が氾濫し、振り回される
7. パソコンなどを使うことでストレスがたまる
8. 情報通信技術の進展のスピードが速くてついていけない
9. 新しい機器の購入やサービスの加入など経済的負担が増加する
10. 特に不満・不安はない
11. わからない
12. その他（)

問12. 現在、国の機関において、情報通信技術を活用した以下の取り組みが検討されていますが、その中で鹿児島市には、どのような取り組みが特に必要であると思いますか。次の中から当てはまる番号3つに○印をつけてください。

1. インターネットやコンビニなど、行政の窓口以外で申請届出や証明書が入手できる
2. 番号制度を利用することで、保険や税、年金など申請手続きの簡素化や効率化を図る
3. 個人情報保護に配慮した上で、2次利用可能な形で行政情報を公開する
4. 高齢者等に対する在宅医療・介護、見守り支援等を推進する
5. 学校教育・生涯学習の情報化を推進する（デジタル教材や電子書籍の導入など）
6. ブロードバンドサービスを活用し、医療・教育などのサービスを向上させ、地域の活性化をはかる
7. 地域の中小企業や農業などの活性化を図る
8. 災害や防犯情報を共有し、インターネットなどで情報提供を進める
9. 環境への配慮と省エネ化を進める
10. わからない
11. その他（）

問13. 鹿児島市の情報化施策についてご意見・ご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ ※ ※ ※

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、このアンケート用紙を同封の返信用封筒に入れ、8月17日(水)までにご投函ください。

かごIT第 20号
平成23年11月16日

地域情報化推進委員会委員 各位

かごしまITフェスタ実行委員会
会長 森 博 幸

かごしまITフェスタの開催について（ご案内）

晩秋の候、貴殿におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、本実行委員会では来る平成23年12月2日（金）～4日（日）に、鹿児島アリーナにおきまして、「かごしまITフェスタ」を開催いたします。

この催しは、より多くの市民の方々に楽しみながらITをより身近なものとして感じていただくとともに、地元IT産業の活性化等を図ることを目的として行う、ITの総合的なイベントでございます

詳細につきましては、別添「チラシ」のとおり予定しておりますので、何卒ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

かごしまITフェスタ実行委員会事務局

鹿児島市役所情報システム課（担当：長谷川^{はせがわ}、荊原^{いげはら}）

〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号

（直通電話）099-216-1115

（代表電話）099-224-1111（内線2032）

（FAX）099-216-1117